

市内遺跡調査概報25

- 平成26年度 中保A遺跡の発掘調査報告他 -

2016年3月

高岡市教育委員会

市内遺跡調査概報 25

- 平成 26 年度 中保 A 遺跡の発掘調査報告他 -

2016 年 3 月

高岡市教育委員会

序

高岡市域においては、現在341箇所もの遺跡が周知されています。これら多くの遺跡で釀成された文化は、先祖から代々受け継がれ、現代の高岡市の風土や郷土文化をかたちづくっております。本市としましては、これら貴重な文化財を今後も保護して参る所存であります。

このたび報告いたしますのは、個人住宅等の建設に伴い平成26年度に実施した試掘調査21遺跡36地区の概要です。

平成26年度の調査では、中保A遺跡で弥生中期の集落と、溝や土坑から良好な資料が出土しており、佐野台地の弥生集落を解明する上で重要な知見を得ることができました。出来田南遺跡では、遺跡北半に位置する神明神社周辺で古代を中心とした土坑や溝が検出されました。井口本江遺跡においても主に古代～中世の遺構・遺物が検出され、高岡環状線の建設に伴う本調査で見つかった集落の広がりが確認されました。

本書が郷土における歴史探求や学術研究に活用されれば幸いです。

末尾になりましたが、今回の発掘調査の実施にあたり、ご協力いただきました関係各位、地元の皆様に、厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

高岡市教育委員会
教育長 氷見 哲正

例 言

1. 本書は、富山県高岡市において高岡市教育委員会が実施した埋蔵文化財発掘調査の概要報告書である。
2. 当調査は、個人住宅の建設等の開発行為に伴い実施したものである。
3. 現地調査は平成26年度に国庫補助金の交付を受けて実施し、これにかかる報告書作成は平成27年度国庫補助金の交付を受け、高岡市教育委員会が実施した。
4. 本書で報告する遺跡ならびに調査地区は21遺跡36箇所である。
5. 調査形態は、すべて試掘調査である。
6. 調査関係者は以下のとおりである。

課 長 高田 克宏

課長補佐 杉森 芳昭 (27年度～)

主 幹 杉森 芳昭 (26年度)

主 査 根津 明義

主 事 田上 和彦

杉山 大晋 (27年度～)

事 務 員 杉山 大晋 (26年度)

非常勤職員 上坂 哲也

菅頭 明日香 (27年度)

7. 現地調査は26年度に田上・杉山・上坂が担当し、報告書の編集と写真撮影は整理員の協力を得て、
田上・杉山・菅頭が担当した。
8. 発掘調査及び遺物整理の従事者は次の通りである。 (五十音順)

【現地調査】

石田敏行 小坂達朗 高崎輝雄 畠山行男 馬道弘一

【報告書編集作業】

宮野美重子 山口淳子

9. 発掘調査にかかる遺物等の資料は、すべて高岡市教育委員会が一括保管している。
10. 現地調査や報告書の作成等は、以下の各氏・機関から指導・協力を得た。 (五十音順 敬称略)

下演貴子 西井能儀 久田正弘

凡 例

1. 本書に掲載した遺構図の方位は座標北であり、水平基準は海拔高である。
2. 本書においては、各遺構に対し、次のような記号を付してその種別を表した。
S A : 桁址 S B : 桁立柱建物 S D : 溝状遺構 S E : 井戸址 S K : 土坑
S X : 凹地及び性格不明遺構
3. 本書においては、遺物実測図の縮尺のうち、特に記載のないものは土器・陶磁器類は1/3、
古代瓦は1/4で統一した。その他は遺物番号などに記載している。

市内遺跡調査概報25

目 次

序

例 序

例 言

凡 例

目 次

第1章 遺跡の位置と歴史的環境 1

第2章 試掘調査 5

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 中曾根遺跡（土肥地区） | 17. 上北島遺跡（石黒地区） |
| 2. 下佐野遺跡（上田産業地区） | 18. 中曾根北遺跡（竹内地区） |
| 3. 中曾根西遺跡（角谷、能松地区） | 19. 瑞穂町遺跡（ア・ライズ2地区） |
| 4. 井口本江遺跡（ア・ライズ2地区） | 20. 萩島前川原遺跡（林地区） |
| 5. 越中国府閔連遺跡（渋谷、マルワハウス地区） | 21. 越中国府閔連遺跡（中山、今井地区） |
| 6. 上黒田遺跡（今村地区） | 22. 出来田南遺跡（トラストホーム地区） |
| 7. 瑞龍寺遺跡（瑞龍、荒木地区） | 23. 越中国府閔連遺跡（ポケットパーク地区） |
| 8. 井口本江遺跡（広和地区） | 24. 下佐野遺跡（米田地区） |
| 9. 越中国府閔連遺跡（谷内地地区） | 25. 中保B遺跡（中村地区） |
| 10. 出来田南遺跡（セブンイレブン・ジャパン地区） | 26. 江尻C遺跡（川島地区） |
| 11. 出来田南遺跡（中野地区） | 27. 中保B遺跡（天野地区） |
| 12. 出来田南遺跡（竹澤地区） | 28. 伊勢領遺跡（新川地区） |
| 13. 井口本江遺跡（セブンイレブン・ジャパン地区） | 29. 立野地頭田遺跡（キャピタル地区） |
| 14. 中保A遺跡（竹下地区） | 30. 古定塚遺跡（村本地区） |
| 15. 井口本江遺跡（武内地区） | 31. 蓮花寺遺跡（山村地区） |
| 16. 赤祖父羽佐間遺跡（金山不動産地区） | 32. 山園町遺跡（折橋地区） |

第3章 市内分布調査 42

第1節 調査の経緯と目的

第2節 調査の経過

第3節 位置と環境

第1項 地理的環境

第2項 歴史的環境

第4節 調査の方法と成果

第1項 調査の方法

第2項 調査の成果

第5節 総括

第1項 越中国の古代北陸道について

第2項 古代北陸道の推定

挿 図 目 次

- 第1図 調査位置図
第2図 中曾根遺跡（土肥地区）調査区位置図
第3図 下佐野遺跡（上田産業地区）調査区位置図
第4図 中曾根西遺跡（角谷・能松地区）調査区位置図
第5図 井口本江遺跡（ア・ライズ2地区）調査区位置図
第6図 越中国府閔連遺跡（渋谷・マルワハウス地区）調査区位置図
第7図 越中国府閔連遺跡（マルワハウス地区）出土遺物実測図
第8図 上黒田遺跡（今村地区）調査区位置図
第9図 瑞龍寺遺跡（瑞龍・荒木地区）調査区位置図
第10図 井口本江遺跡（広和地区）調査区位置図
第11図 越中国府閔連遺跡（谷内地区）調査区位置図
第12図 出来田南遺跡（セブンイレブン・ジャパン地区）調査区位置図
第13図 出来田南遺跡（中野地区）調査区位置図
第14図 出来田南遺跡（竹澤地区）調査区位置図
第15図 井口本江遺跡（セブンイレブン・ジャパン地区）調査区位置図
第16図 中保A遺跡（竹下地区）調査区位置図
第17図 中保A遺跡（竹下地区）平面図
第18図 中保A遺跡（竹下地区）遺物実測図
第19図 中保A遺跡（竹下地区）遺物実測図
第20図 井口本江遺跡（武内地区）調査区位置図
第21図 赤祖父羽佐間遺跡（金山不動産地区）調査区位置図
第22図 上北島遺跡（石黒地区）調査区位置図
第23図 中曾根北遺跡（竹口地区）調査区位置図
第24図 瑞穂町遺跡（ア・ライズ2地区）調査区位置図
第25図 萩島前川原遺跡（林地区）調査区位置図
第26図 越中国府閔連遺跡（中山・今井地区）調査区位置図
第27図 出来田南遺跡（トラストホーム地区）調査区位置図
第28図 越中国府閔連遺跡（ポケットパーク地区）調査区位置図
第29図 下佐野遺跡（米田地区）調査区位置図
第30図 中保B遺跡（中村地区）調査区位置図
第31図 江尻C遺跡（川島地区）調査区位置図
第32図 中保B遺跡（天野地区）調査区位置図
第33図 伊勢領遺跡（新川地区）調査区位置図
第34図 立野地頭田遺跡（キャピタル地区）調査区位置図
第35図 古定塚遺跡（村本地区）調査区位置図
第36図 蓼花寺遺跡（山村地区）調査区位置図
第37図 山園町遺跡（折橋地区）調査区位置図

- 第38図 検査位置図
- 第39図 検査対象地周辺の遺跡と街道
- 第40図 現況遺構地形図
- 第41図 道路遺構図（小矢部市桜町遺跡）
- 第42図 道路遺構図（高岡市麻生谷新生園遺跡）
- 第43図 古代北陸道推定図 明治43年図を縮小

図 版 目 次

図版01	遺構写真 中曾根遺跡（土肥地区）	1. 第2トレンチ全景
	下佐野遺跡（上田産業地区）	2. 第1トレンチ全景
	中曾根西遺跡（角谷地区）	3. 第1トレンチ全景
図版02	遺構写真 中曾根西遺跡（能松地区）	1. 第1トレンチ全景
	井口本江遺跡（ア・ライズ2地区）	2. 第5トレンチ全景
	越中国府閔遺跡（渋谷地区）	3. 第1トレンチ全景
図版03	遺構写真 越中国府閔遺跡（マルワハウス地区）	1. 第1トレンチ全景
	越中国府閔遺跡（マルワハウス地区）	2. 第4トレンチ全景
	上黒田遺跡（今村地区）	3. 第1トレンチ全景
図版04	遺構写真 瑞龍寺遺跡（眼鏡地区）	1. 第1トレンチ全景
	瑞龍寺遺跡（荒木地区）	2. 全景
	井口本江遺跡（広和地区）	3. 第2トレンチ全景
図版05	遺構写真 越中国府閔遺跡（谷内地区）	1. 全景
	出来田南遺跡（セブンイレブン・ジャパン地区）	2. 第2トレンチ全景
	出来田南遺跡（セブンイレブン・ジャパン地区）	3. 第3トレンチ全景
図版06	遺構写真 出来田南遺跡（中野地区）	1. 第1トレンチ全景
	出来田南遺跡（竹澤地区）	2. 第1トレンチ全景
	井口本江遺跡（セブンイレブン・ジャパン地区）	3. 第1トレンチ全景
図版07	遺構写真 中保A遺跡（竹下地区）	1. 第1トレンチ全景
		2. 第1トレンチ溝SK04 弥生土器出土状況
		3. 第2トレンチ全景
図版08	遺構写真 中保A遺跡（竹下地区）	1. 第3トレンチ全景
		2. 第3トレンチSK15・SK16 弥生土器出土状況
		3. 第4トレンチ全景

図版09	遺物写真 中保A遺跡（竹下地区）	1. 出土弥生土器1 2. 出土弥生土器2 3. 出土石製品類（玉作関連）
図版10	遺構写真 井口本江遺跡（武内地区） 井口本江遺跡（武内地区） 赤祖父羽佐間遺跡（金山不動産地区）	1. 第1トレント全景 2. 第2トレント全景 3. 第1トレント遺構掘削状況
図版11	遺構写真 上北島遺跡（石黒地区） 中曾根北遺跡（竹口地区） 瑞穂町遺跡（ア・ライズ2地区）	1. 第2トレント全景 2. 第1トレント全景 3. 第1トレント全景
図版12	遺構写真 瑞穂町遺跡（ア・ライズ2地区） 蓑島前川原遺跡（林地区） 越中国府閔連遺跡（中山地区）	1. 第2トレント全景 2. 第1トレント全景 3. 全景
図版13	遺構写真 越中国府閔連遺跡（今井地区） 出来田南遺跡（トラストホーム地区） 越中国府閔連遺跡（ポケットパーク地区）	1. 第1トレント土層断面 2. 第1トレント全景 3. 第2トレント全景
図版14	遺構写真 下佐野遺跡（米田地区） 中保B遺跡（中村地区） 江尻C遺跡（川島地区）	1. 第1トレント全景 2. 全景 3. 第1トレント土層断面
図版15	遺構写真 中保B遺跡（天野地区） 伊勢領遺跡（新川地区） 立野地頭田遺跡（キャピタル地区）	1. 第2トレント全景 2. 全景 3. 第2トレント全景
図版16	遺構写真 古定塚遺跡（村本地区） 蓮花寺遺跡（山村地区） 山匯町遺跡（折橋地区）	1. 第3トレント全景 2. 第2トレント全景 3. 第2トレント全景

第1章 遺跡の位置と歴史的環境

高岡市は富山県の西部に位置し、県内第2位の人口を擁する。市域は東西約24.5km、南北約19.2kmに及び、その面積は富山県域の約5%にあたる209.38km²を有する。

地形的には山間部のほか、丘陵部や平野部から成り、北部では日本海の富山湾に面する。平野部は北陸有数の穀倉地帯を形成し、古くから舟運や海運の発達を促進する地勢を有した地域といえる。

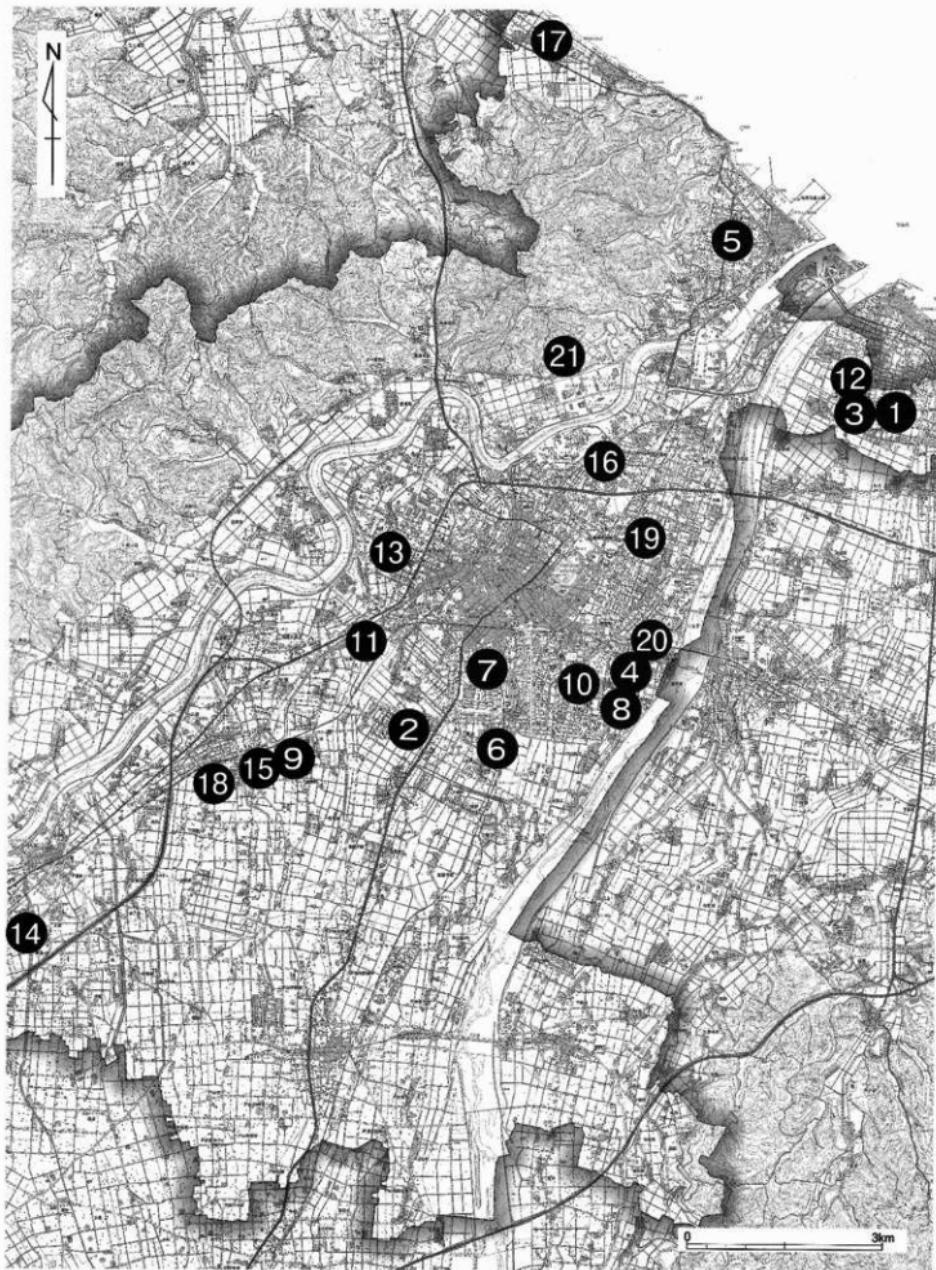
市内には庄川と小矢部川が所在する。高岡の平野部はこの2河川による複合的な扇状地で形成されているが、小矢部川左岸では西山丘陵とよばれる標高300mに満たない丘陵がつらなり、能登半島の宝達山を主峰とする山間部に繁がっている。

現在、高岡市では341もの遺跡が周知されており、その分布状況は、山間部のほか丘陵部や平野部に大別できる。山間部では旧石器時代の遺跡が点在し、縄文時代の遺跡も谷あいの平坦地などで確認されている。丘陵部には古墳群や中世城館などが密集する。また、古代の北陸道は西山丘陵の山麓線沿いにはしっていたとされる。

平野部には、弥生時代を主体とする集落遺跡として県内有数の規模を誇る石塚遺跡や下老子笠川遺跡、古代における官衙的な遺跡とされる東木津遺跡や中保B遺跡、中世の木舟城の城下町遺跡である石名田木舟遺跡など、県内の考古学研究史を語るうえでも欠かすことのできない遺跡が集中している。

中保A遺跡では弥生中期の集落と多量の土器が検出され、溝や土坑から良好な資料が出土した。佐野台地では弥生中期の遺構・遺物が点的に見つかっており、今回出土の資料は貴重な資料である。高岡環状線の供用により発展が著しい市街地南東部の出来田南遺跡では、遺跡北半に位置する神明神社周辺で古代を中心とした土坑や溝が検出された。井口本江遺跡においても遺構・遺物が検出され、高岡環状線の建設に伴う本調査で見つかった集落の広がりを確認した。

- | | |
|--|--------------------|
| ① 中曾根遺跡（土肥地区） | ⑪ 上北島遺跡（石黒地区） |
| ② 下佐野遺跡（上田産業地区、米田地区） | ⑫ 中曾根北遺跡（竹口地区） |
| ③ 中曾根西遺跡（角谷地区、能松地区） | ⑬ 瑞穂町遺跡（ア・ライズ2地区） |
| ④ 井口本江遺跡（ア・ライズ2地区、広和地区、武内地区、セブンイレブン・ジャパン地区） | ⑭ 養島前川原遺跡（林地区） |
| ⑤ 越中国府関連遺跡
(渋谷地区、谷内地区、マルワハウス地区、中山地区、ポケットパーク地区、今井地区) | ⑮ 中保B遺跡（中村地区、天野地区） |
| ⑥ 上黒田遺跡（今村地区） | ⑯ 江尻C遺跡（川島地区） |
| ⑦ 瑞龍寺遺跡（銀龍地区、荒木地区） | ⑰ 伊勢領遺跡（新川地区） |
| ⑧ 出来田南遺跡（セブンイレブン・ジャパン地区、中野地区、竹澤地区、トラストホーム地区） | ⑯ 立野地頭田遺跡（キャピタル地区） |
| ⑨ 中保A遺跡（竹下地区） | ⑯ 古定塚遺跡（村本地区） |
| ⑩ 赤祖父羽佐間遺跡（金山不動産地区） | ⑯ 那花寺遺跡（山村地区） |
| | ⑯ 山園町遺跡（折橋地区） |



第1図 調査位置図

試掘調査

第1表 平成26年度の遺跡調査一覧

No.	遺跡名	総みか	所占比	時代	種別	現状
1	中曾根遺跡	なかそねいせき	—	中曾根	弥生～中世	散布地
2	下佐野遺跡	しもさのいせき	—	下佐野・西佐野	弥生～中世	水田・宅地
3	中曾根西遺跡	なかそねにしいせき	—	中曾根	弥生～中世	水田
4	井口本江遺跡	いぐちほんごういせき	—	井口本江	奈良～平安	集落
5	越中國府開発遺跡	えつちゅうこふかんれんいせき	—	伏木	古代・中世	官衙
6	上黒田遺跡	かみくろだいせき	—	上黒田	奈良～中世	散布地
7	瑞龍寺遺跡	すりゅうじいせき	—	閑本町	近世	寺院
8	出来田南遺跡	できでんみなみいせき	—	出来田	奈良～平安	集落
9	中保A遺跡	なかほえーいせき	—	中保	縄文晩期・弥生	散布地
10	赤祖父羽佐間遺跡	あかそふざまいせき	—	赤祖父	古墳～中世	集落
11	上北島遺跡	かみきたじまいせき	—	上北島	平安～中世	宅地
12	中曾根北遺跡	なかそねきたいせき	—	中曾根	弥生～中世	散布地
13	瑞穂町遺跡	みずほまちいせき	—	瑞穂町	弥生～古墳	水田
14	新島前川原遺跡	みのじままえがわらかいせき	—	大瀬・新島	弥生・中世・近世	宅地
15	中保B遺跡	なかほびーいせき	—	中保	縄文晩期・弥生～中世	耕作地
16	江尻C遺跡	えじりしーいせき	—	江尻	古代～中世	散布地
17	伊勢領遺跡	いせりょうういせき	—	伊勢領	弥生～古墳	烟・宅地
18	立野地頭田遺跡	たてのじとうでんいせき	—	立野	縄文晩期・奈良～平安	散布地
19	古定坂遺跡	ふるじょうつかいせき	—	古定坂	古定坂	水田
20	蓮花寺遺跡	れんげじいせき	—	蓮花寺	平安～中世	散布地
21	山園町遺跡	やまぞのまちいせき	—	山園町	奈良～中世	散布地

第2章 試掘調査

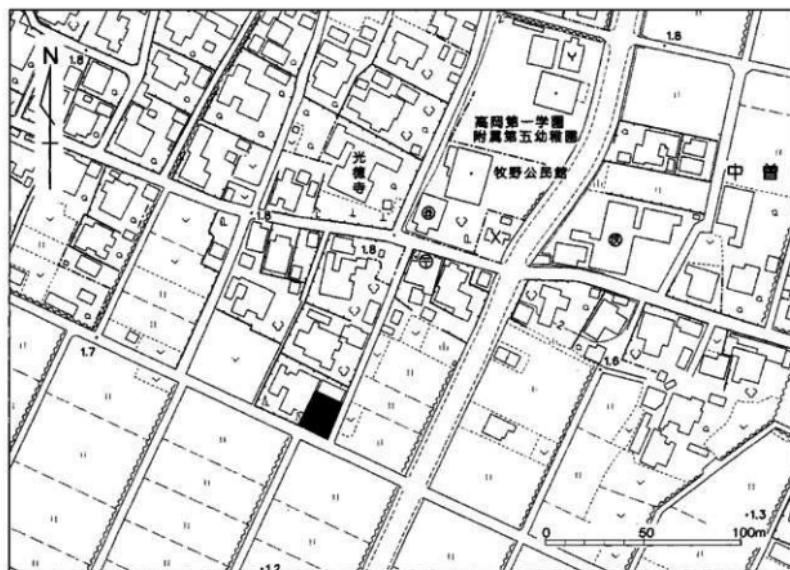
1. 中曾根遺跡（土肥地区）

所 在 地	高岡市中曾根 714番地の一部
調査期間	平成26年4月24日
対象面積	225.35m ²
試掘坑	2本
発掘面積	約13.83m ²
調査原因	個人住宅建設
検出遺構	土坑3基、柱穴1基
出土遺物	弥生土器片、近世肥前陶磁器片、越中瀬戸（壺）

調査概要

本地点は遺跡の東側の隣接地にあたる。周辺の試掘結果では弥生時代と古代・中世の遺構、遺物が見つかっており、微高地に集落の存在が推定される。

試掘調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約60～70cm、標高12m付近で褐色土の遺構検出面を確認した。遺構は、土坑3基、柱穴1基が検出され、遺物は弥生土器片と近世肥前陶磁器片、越中瀬戸（壺）が出土した。そのうち、弥生土器片は対象地北側に設定した第2トレンチの土坑から出土しており、弥生～古墳時代の集落が包蔵地の東側にも広がっていることが想定される。



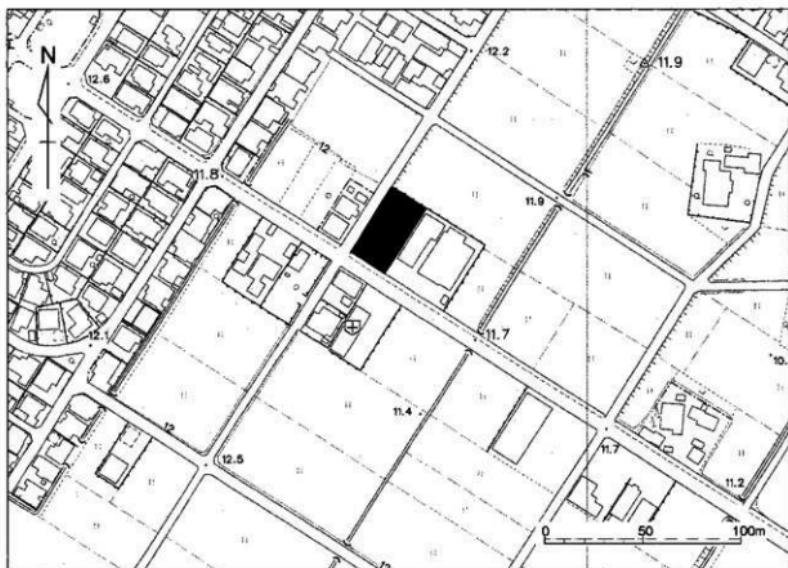
第2図 中曾根遺跡（土肥地区）調査区位置図

2. 下佐野遺跡（上田産業地区）

所 在 地 高岡市佐野 1075番地1
調 査 期 間 平成 26年5月13日
対 象 面 積 818.42m²
試 挖 坑 2本
発 挖 面 積 約 46.94m²
調 査 原 因 宅地造成
検 出 遺 構 なし
出 土 遺 物 古代土師器、古代須恵器（壺）、中世鉄袖天目茶碗、中世珠洲擂鉢（壺）、時期不明土師器片
調 査 概 要

本地点は遺跡の北側に位置する。周辺の試掘結果では古代・中世の遺構、遺物が見つかっており、遺跡の南側である高岡環状線関連の調査では、弥生～中世の集落・墓域等が見つかっている。

試掘調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約100～110cm、標高10.7～10.8m付近で灰色土の地山を検出した。遺構は検出されなかったが、遺物は古代土師器片と古代須恵器（壺）、中世鉄袖天目茶碗、珠洲（擂鉢・壺）と時期不明土師器片が出土した。双方のトレーナーの出土遺物は、旧耕作土から出土しているため、付近からの流れ込みだと考えられる。



第3図 下佐野遺跡（上田産業地区）調査区位置図

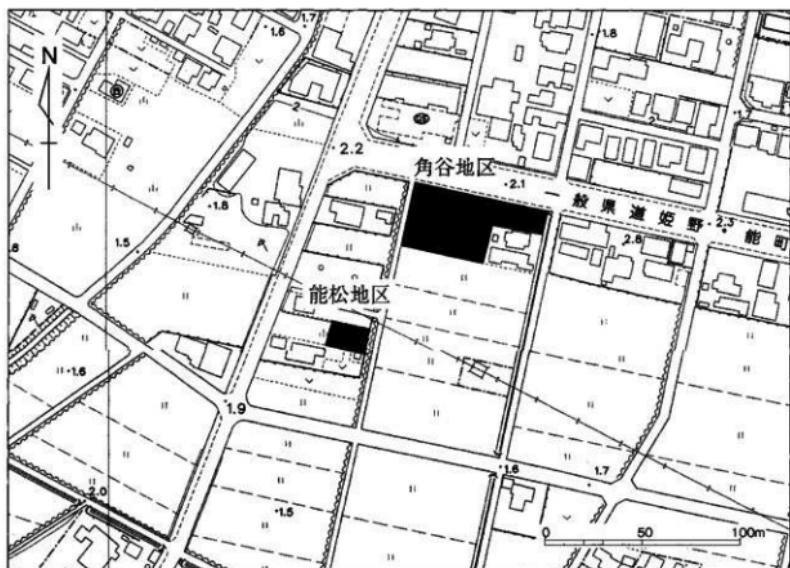
3. 中曾根西遺跡（角谷・能松地区）

	(角谷地区)	(能松地区)
所 在 地	高岡市中曾根 476 番 1、476 番 2、477 番 1	高岡市中曾根 2841 番
調査期間	平成 26 年 5 月 15 日、16 日	平成 27 年 2 月 5 日
対象面積	1004.53m ²	263m ²
試掘坑	3 本	1 本
発掘面積	約 46.94m ²	約 7.2m ²
調査原因	宅地造成	個人住宅建設
検出遺構	なし	なし
出土遺物	なし	なし
調査概要		

本地点は遺跡の北端に位置する。周辺の試掘結果では弥生中期～後期の集落や縄文～中世の遺物が見つかっている。近年、土地区画整理が進行し、発掘調査の成果が徐々に積み上げられている。

角谷地区の試掘調査は対象地に試掘坑を 3 箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約 100cm、標高 0.9 ~ 1.0m 付近で灰色の地山を検出した。遺構・遺物とも検出されなかった。

能松地区的試掘調査は対象地に試掘坑を 1 箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約 140cm まで掘削したが、地山は検出されなかった。遺構・遺物とも検出されなかった。



第4図 中曾根西遺跡（角谷・能松地区）調査区位置図

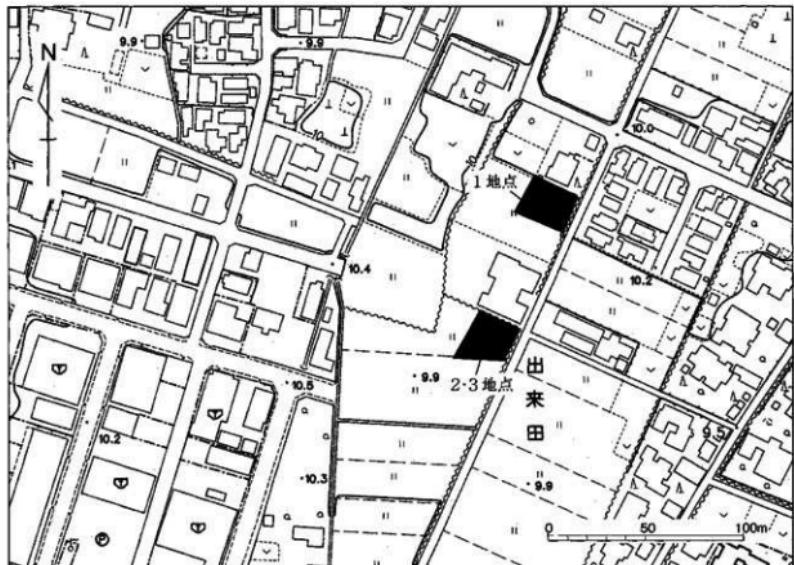
4. 井口本江遺跡（ア・ライズ2地区）

所 在 地	高岡市出来田 244番1、245番1、290番
調査期間	平成26年5月19日、20日、22日
対象面積	1,436m ²
試掘坑	5本
発掘面積	約 96.1m ²
調査原因	宅地造成
検出遺構	溝1条、土坑2基
出土遺物	縄文土器（後期気屋式）、古代須恵器（杯・蓋・壺）、古代土師器片、中世珠洲（擂鉢）、中世土師器片

調査概要

本地点は遺跡の中央に位置する。井口本江遺跡は、過年度の高岡市教委による本発掘調査、試掘調査と県道能町庄川線建設に伴う県財団の発掘調査の結果、縄文晩期から近世まで断続的に遺構・遺物とも見つかっている。本地点周辺は弥生中期、古代、中世の集落が見つかっている。特に中世の掘立柱建物、区画溝や井戸が見つかっており、その広がりが予想される。

試掘調査は対象地に試掘坑を5箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約40～60cm、標高9.1m付近で灰色の遺構検出面を確認した。そのうち、1箇所で遺構が検出され、遺物は全ての試掘坑から出土した。出土遺物は縄文土器（後期気屋式）、古代須恵器（杯・蓋・壺）、古代土師器片、中世珠洲（擂鉢）、中世土師器片である。1地点は遺構・遺物が検出された。2・3地点は遺物が一定量出土したが、遺構は検出されなかったため、出来田南遺跡に近い場所で遺構の存在が予想される。時期別にみると、縄文後期の土器は南側のみで検出され、局地的な出土に留まる。古代の遺物は主に全域に出土しているが、遺構が存在する1地点は遺物が少ない。



第5図 井口本江遺跡（ア・ライズ2地区）調査区位置図

5. 越中国府関連遺跡（渋谷・マルワハウス地区）

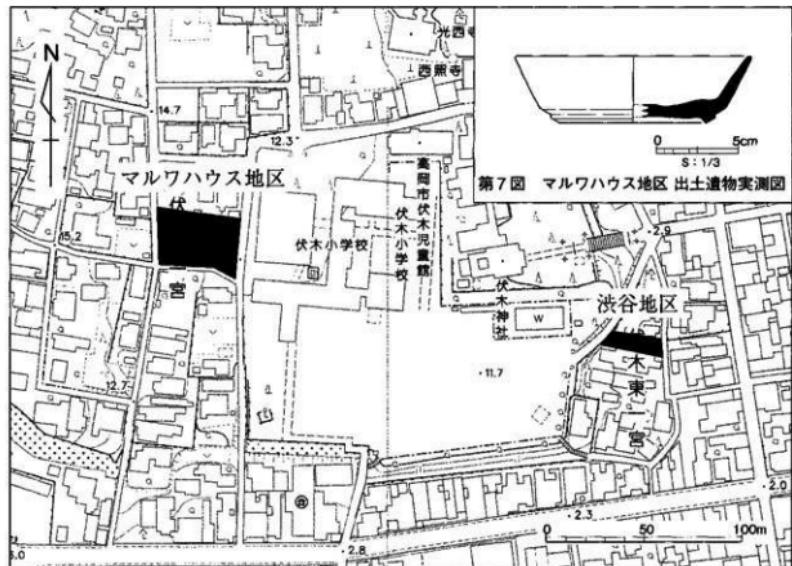
(渋谷地区)		(マルワハウス地区)	
所 在 地	高岡市伏木東一宮 1238番、1239番、1242番	高岡市伏木東一宮 1033番1、1033番2	
調査期間	平成26年5月28日	平成26年11月10日、11日	
対象面積	313.82m ²	1,485.62m ²	
試掘坑	2本	6本	
発掘面積	約13.59m ²	約34.5m ²	
調査原因	個人住宅建設	宅地造成	
検出遺構	なし	土坑1基	
出土遺物	なし	古代須恵器（杯A・杯B・蓋・壺・瓶類ほか）、古代土師器（杯ほか）、古代煮炊具、時期不明土師器	
調査概要			

渋谷地区は遺跡の東側にあたる。旧一宮村大立ないし九万田に比定され、伏木神社に近い、大立の台地の崖下にあたる。東一宮周辺は調査履歴も少なく、遺構・遺物は見つかっていない。

試掘調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約50～60cm、標高2.7m付近で基盤層である砂礫層が検出された。遺構・遺物とも検出されなかった。

マルワハウス地区は遺跡の中央に位置する。旧字名は「大立」や「徐貝」と推定される。過年度の高岡市教委による本発掘調査、試掘調査では遺物の出土はあるが、明確な遺構は検出されていない。

試掘調査は対象地に試掘坑を6箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約40～50cm掘り下げた地点で、遺構検出面を確認した。対象地北東側の試掘坑1箇所で土坑1基を検出した。遺物は古代須恵器（杯A・杯B・蓋・壺・壺・瓶類ほか）、古代土師器（杯ほか）、古代煮炊具、時期不明土師器が出土した。対象地南側では落ち込みが深く、地山の検出ができなかつた一方、高台となる北西側は遺構・遺物の広がりは確認できなかつた。以上のことから、流れ込んできた遺物を消費していた遺構群の存在が想定される。



第6図 越中国府関連遺跡（渋谷・マルワハウス地区）調査区位置図

6. 上黒田遺跡（今村地区）

所 在 地 高岡市下黒田字中沖 429、430

調査期間 平成 26 年 6 月 4 日

対象面積 676.02m²

試掘坑 2 本

発掘面積 約 17.5m²

調査原因 個人住宅建設

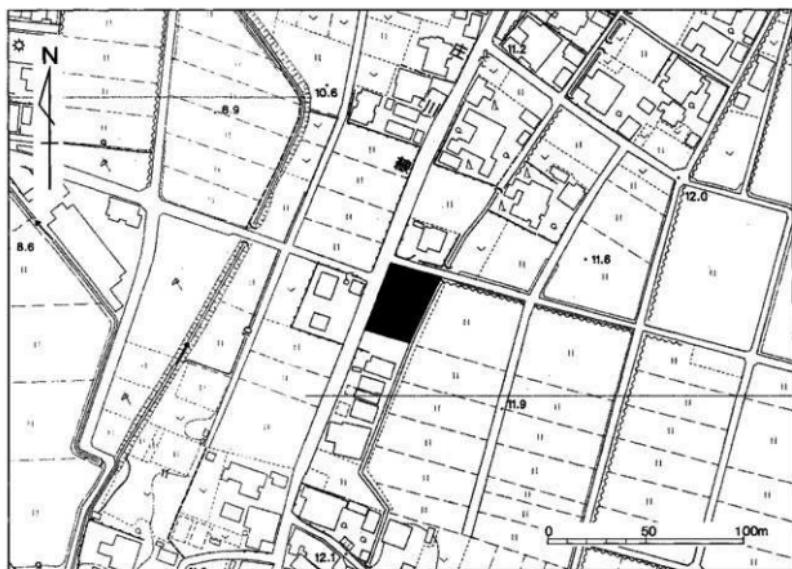
検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査概要

本地点は遺跡の北西端の隣接地にあたる。周辺の試掘結果では、中近世の遺物がみつかっているが、遺構の検出はない。

試掘調査は対象地に試掘坑を 2 個所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約 120cm まで掘り下げたが、地山の検出はできず、遺構・遺物とも検出されなかった。



第 6 図 上黒田遺跡（今村地区）調査区位置図

7. 瑞龍寺遺跡（眼龍・荒木地区）

	(眼龍地区)	(荒木地区)
所 在 地	高岡市上関町 23番1	高岡市関本町 10番
調査期間	平成 26年 6月 9日	平成 26年 7月 3日
対象面積	572m ²	307.68m ²
試掘坑	2本	1本
発掘面積	約 42.6m ²	約 15.0m ²
調査原因	個人住宅建設	個人住宅建設
検出遺構	土坑1基	なし
出土遺物	なし	なし

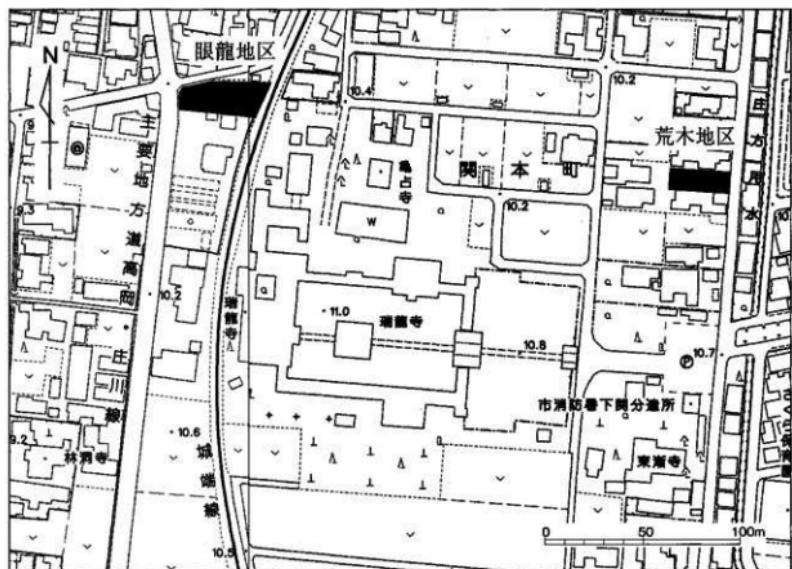
調査概要

眼龍地区は遺跡の北西側に位置する。周辺の試掘結果では中世の遺構・遺物や、近世の瓦窯等が見つかっている。瑞龍寺の書院の西側に位置し、寛政9年の『瑞龍寺配置古図』には、亀占庵が所在したと記されている。

試掘調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、対象地中央に設定した第1トレンチにおいて、地表面下約 30 ~ 40cm、標高約 9.2 m付近で灰色の検出面を確認し、土坑1基が検出された。上層の盛土・黒色土から近世越中瀬戸・皿が出土したが、流れ込みの可能性が高いと考えられる。遺構の広がりを確認するため、対象地南に第2トレンチを設定したが、遺構・遺物とも検出されなかった。

荒木地区は遺跡北東側、二重堀の内側に位置する。周辺の調査では、遺構は検出されていない。

試掘調査は対象地に試掘坑を1箇所設定し、地下の状況を把握したところ、遺構・遺物とも検出されなかった。対象地中央に設定した第1トレンチでは、地表面下約 90cm まで掘り下げたところ、標高 9.5 m付近で地山を検出したが、トレンチ東側では、地山を検出できなかった。



第9図 瑞龍寺遺跡（眼龍・荒木地区）調査区位置図

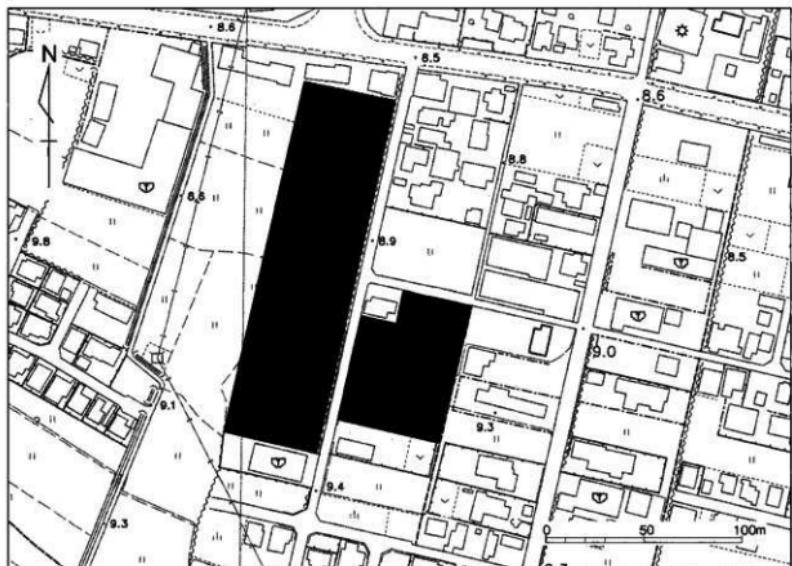
8. 井口本江遺跡（広和地区）

所 在 地	高岡市蓮花寺 207-1、208-1、209-1、210-1、 211-2、212-1、212-3、213-1、213-2、214-1
調査期間	平成26年6月25日
対象面積	4,274m ²
試掘坑	3本
発掘面積	約59.2m ²
調査原因	店舗建設
検出遺構	土坑1基、小穴2基
出土遺物	なし

調査概要

本地点は遺跡の北端に位置する。平成23年度に遺跡範囲を拡張した部分にあたり、付近で県道能町庄川線建設に伴う本発掘調査は実施されていない。遺跡北側では中近世の集落が見つかっていることから、中近世の集落の広がりや流れ込みの遺物の存在が予想された。

試掘調査は対象地に試掘坑を3箇所設定し、地下の状況を把握したところ、対象地南に設定した第2トレーンチにおいて、地表面下約30~40cmで灰色の遺構検出面を確認し、土坑1基と小穴2基を検出した。遺物の検出はなかった。遺構の所在が確認できたことから試掘坑を拡張したが、遺構の密度は希薄であり、能町庄川線で検出された集落の広がりは本地点には至らないと考えられる。また、対象地北側に設定した第1トレーンチでは植物遺体がトレーンチ全体で検出されており、湿地帯に近い環境であったと推測できる。



第10図 井口本江遺跡（広和地区）調査区位置図

9. 越中国府関連遺跡（谷内地区）

所 在 地 高岡市伏木東一宮 766番1

調査期間 平成26年7月15日

対象面積 173.76m²

試 挖 坑 1本

発 挖 面 積 約 14.4m²

調査原因 個人住宅建設

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査概要

本地点は遺跡のはば中央にあたる。旧一宮村清水ないし塙木に比定され、周辺の調査結果では遺構・遺物は見つかっていない。

試掘調査は対象地に試掘坑を1箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約50～60cmまで掘り下げ、標高14.0m付近で砂礫層を確認した。遺構・遺物とも検出されなかった。

粘土層が存在しないため、削平されていると考えられる。



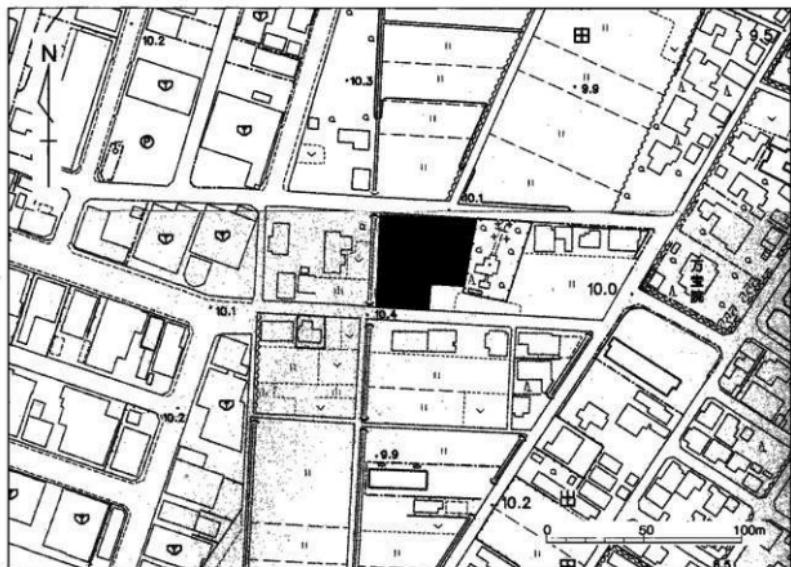
第11図 越中国府関連遺跡（谷内地区）調査区位置図

10. 出来田南遺跡（セブンイレブン・ジャパン地区）

所 在 地	高岡市出来田 252 番 1、253 番 1、254 番 1、254 番 5
調 査 期 間	平成 26 年 7 月 16 日～18 日
対 象 面 積	1,319m ²
試 挖 坑	5 本
發 据 面 積	約 77.81m ²
調 査 原 因	店舗建設
検 出 遺 構	溝 3 条、土坑 9 基、柱穴 6 基
出 土 遺 物	須恵器（杯・蓋・壺・瓶・甕）、古代土師器（杯・甕ほか）、時期不明土師器、黒色土器、赤彩土師器ほか
調 査 概 要	

本地点は遺跡の北側に位置する。過年度の高岡市教委による本発掘調査、試掘調査と県道能町庄川線建設に伴う発掘調査の結果、主に古代から近世まで断続的に遺構・遺物とも見つかっている。本地点周辺は古代・中世の集落が見つかっており、特に古代・中世の掘立柱建物、区画溝や井戸が見つかっている。

試掘調査は対象地に試掘坑を 5 個所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約 20～30cm、標高 9.1～9.5m 付近にて、全体で柱穴 6 基と土坑 9 基、溝 3 条を検出した。遺物は須恵器（杯・蓋・壺・瓶・甕）、古代土師器（杯・甕ほか）、時期不明土師器、黒色土器、赤彩土師器ほかが出土した。対象地北側は遺構・遺物が検出でき、掘立柱建物が確認された。対象地中央西側（県道側）でも遺構が検出されたが、東側（神社側）では遺構が確認できなかつたため、遺構の空閑地が源訪神社付近に存在すると考えられる。県道の調査成果と合わせると、掘立柱建物群の一部が東側に広がることが予測される。



第 12 図 出来田南遺跡（セブンイレブン・ジャパン地区）調査区位置図

11. 出来田南遺跡（中野地区）

所 在 地 高岡市出来田 254-1

調 査 期 間 平成 26 年 8 月 6 日

対 象 面 積 218m²

試 挖 坑 2 本

発 掘 面 積 約 15.2m²

調 査 原 因 個人住宅建設

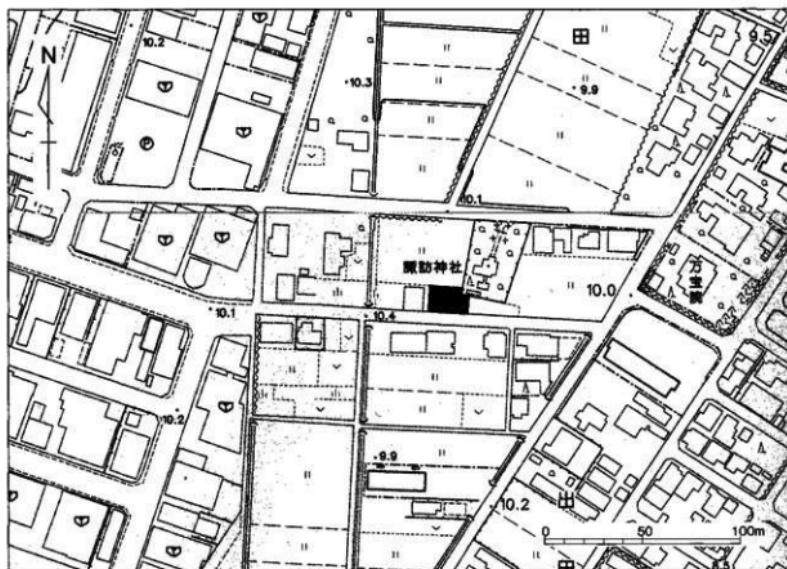
検 出 遺 構 土坑 1 基、溝 1 条

出 土 遺 物 なし

調査概要

本地点は遺跡の北側に位置する。過年度の高岡市教委による本発掘調査、試掘調査と県道能町庄川線建設に伴う発掘調査の結果、主に古代から近世まで断続的に遺構・遺物とも見つかっている。本地点周辺は古代・中世の集落が見つかっている。特に古代・中世の据立柱建物、区画濠や井戸が見つかっており、その広がりが予想された。

試掘調査は北側に試掘坑を 2 箇所設定し、地下の状況を把握したところ、第 1 トレンチにおいて、地表面下約 50 ~ 60cm の土坑 1 基、溝 1 条を検出した。遺物は検出されなかった。対象地東側に設定した第 1 トレンチにおいて、標高約 9.5 ~ 9.6 m で灰色の検出面を確認し、土坑 1 基、溝 1 条が検出された。遺構の密度は薄いが、県道付近の建物群が東側に広がる可能性がある。



第 13 図 出来田南遺跡（中野地区）調査区位置図

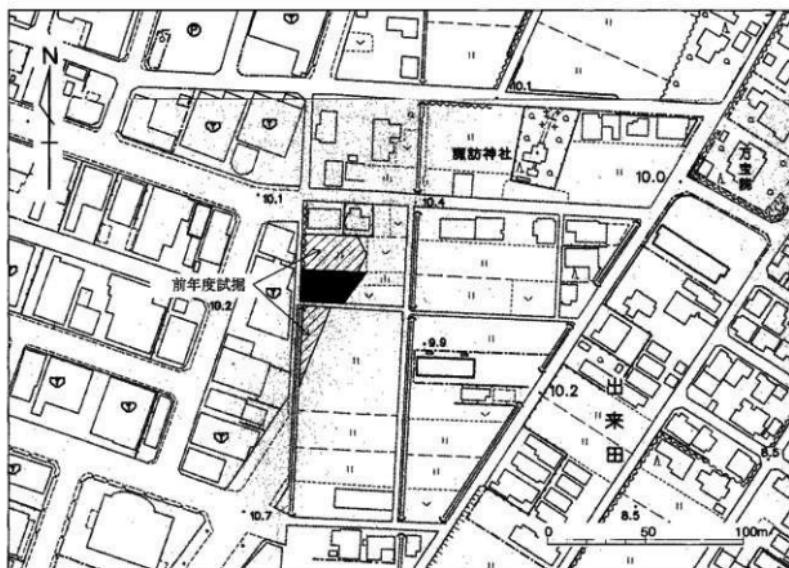
12. 出来田南遺跡（竹澤地区）

所 在 地 高岡市出来田 229番1、229番5
調査期間 平成26年9月2日
対象面積 479m²
試掘坑 1本
発掘面積 約25.6m²
調査原因 駐車場建設
検出遺構 なし
出土遺物 古代黒色土器、古代土師器（椀A・B）、古代須恵器（壺ほか）、中世青磁（碗）、時期不明土師器
調査概要

本地点は遺跡の北側に位置する。過年度の高岡市教委による本发掘調査、試掘調査と県道能町庄川線建設に伴う発掘調査の結果、主に古代から近世まで断続的に遺構・遺物とも見つかっている。本地点周辺は古代・中世の集落が見つかっている。特に古代・中世の掘立柱建物、区画溝や井戸が見つかっており、その広がりが予想された。

試掘調査は中央に試掘坑を1箇所設定し、地下の状況を把握したところ、遺構は検出されなかった。遺物は、青磁（碗片）、古代黒色土器、古代土師器（椀A・B）、古代須恵器（壺ほか）、時期不明土師器が出土した。

第1トレンチでは、地表面下約60～70cmまで掘り下げたが、地山や遺構面は検出できなかつたため、溝や沼状の地形に周辺から遺物が流れ込んだ可能性がある。



第14図 出来田南遺跡（竹澤地区）調査区位置図

13. 井口本江遺跡（セブンイレブン・ジャパン地区）

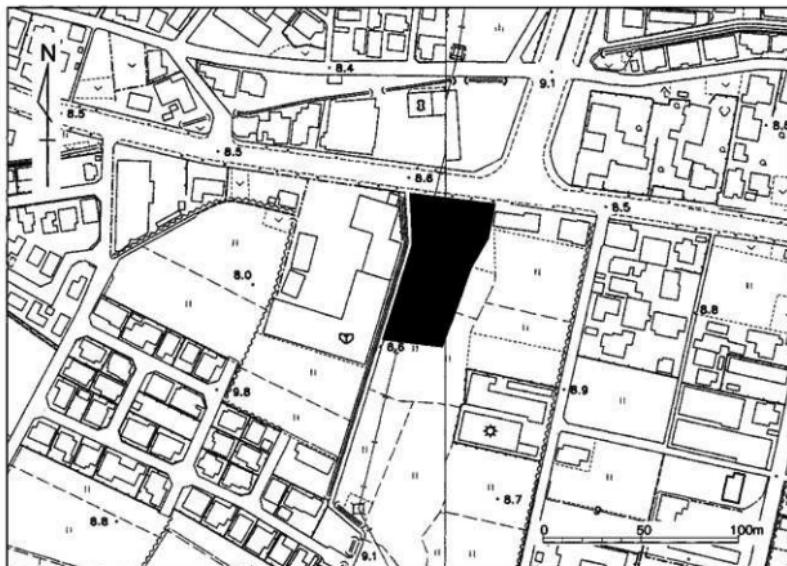
所 在 地 高岡市井口本江五俵町90-1、91-1、92-1、93-1、94-1、95-1、96-1、97-1、98-1
調査期間 平成26年9月9日、10日
対象面積 2,579.69m²
試掘坑 4本
発掘面積 約51.25m²
調査原因 店舗建設
検出遺構 なし
出土遺物 なし

調査概要

本地点は遺跡の北側の隣接地にあたる。過年度の高岡市教委による本発掘調査、試掘調査と県道能町庄川線建設に伴う発掘調査の結果、縄文晩期から近世まで断続的に遺構・遺物とも見つかっている。本地点周辺は中世～近世の集落が見つかっている。

試掘調査は南側に試掘坑を4箇所設定し、地下の状況を把握したところ、遺構・遺物とも検出されなかった。

対象地中央に設定した第1トレンチでは、地表面下約70～80cmまで掘り下げたところ、標高約79～80m付近にて灰青色の堆山を検出した。対象地北側に削削した第2トレンチでも、遺構・遺物とも検出されなかった。



第15図 井口本江遺跡（セブンイレブン・ジャパン地区）調査区位置図

14. 中保A遺跡（竹下地区）

所 在 地 高岡市中保 80 - 1

調査期間 平成 26 年 9 月 18 日、19 日、22 日、24 日

対象面積 1,085m²

試掘坑 4 本

発掘面積 約 120.68m²

調査原因 駐車場建設

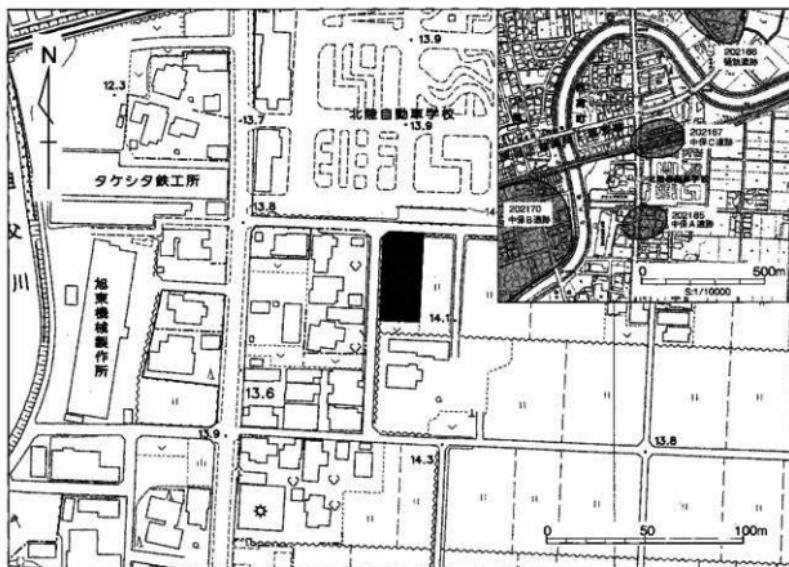
検出遺構 土坑 43 基、溝 5 条他

出土遺物 弥生土器（中期～後期：壺・甕）、古代須恵器（蓋）、近世越中瀬戸他

調査概要

中保 A 遺跡は、庄川が形成した佐野台地縁辺部の標高約 13 m に立地する。高岡工芸高等学校地理歴史クラブ O・B 会である、オジャラ創刊号に遺跡の存在が掲載されており、弥生土器が出土する遺跡として知られていた。弥生中期の遺物は採取されていたが、遺跡の内容等は不明であった。この度、当該地に駐車場が建設されることになり、試掘調査を実施することになった。試掘調査は 2 m 幅のトレンチを掘削し、遺構検出と遺物の確認を行った。

調査区北西の第 2 トレンチ以外では、地表面下約 30 ~ 40 cm まで掘り下げたところ、灰色の検出面と多くの黒褐色土の遺構を確認した。また、遺物は弥生中期（Ⅲ 様式）の壺・甕等が包含層も含めて出土した。遺物は柱穴群を含む土坑・柱穴 38 基、溝 5 条などを検出した。全ての遺構を半裁していないため、遺構の性格を確認した一部の遺構について報告する。



第 16 図 中保 A 遺跡（竹下地区）調査区位置図

検出遺構（第17図）

土坑・柱穴は調査区全域で検出された。不整橢円形や不整形の径100cm程度の土坑と径20～40cm程度の柱穴になるものに大別される。柱穴群は調査区南側に検出された。小規模な不整橢円形・不整形の土坑・柱穴が集中し、北西～南東軸の建物跡の存在が考えられる。

SK 101は調査区中央に位置し、長橢円形を呈する。長軸約0.8m、短軸約0.4m、深さ約10cmを計る。埋土に炭を多く含み、被燃痕のある弥生土器を含み、他の遺構と埋土が異なる。

出土遺物は、弥生土器（1・2）、玉作関連遺物（ヒスイ原石他）が出土している。SK 15は調査区東側に位置し、長橢円形を呈する。長軸約1.0m、短軸約0.7m、深さ約20cmを計る。出土遺物は、弥生土器（3～6・8）、玉作り関連遺物である。

溝は調査区中央に集中し、東西軸で検出されている。溝埋土からは、残りの良い弥生土器も出土する。SD 01・06は調査区中央に東西軸に走る溝である。規模は長さ12m以上、最大幅2.8m程度で西側に続く。出土遺物は、弥生土器（15・17）、緑色凝灰岩剥片等である。SD 4はSK 28・29付近の土坑の可能性もあるが、ここでは溝と報告する。長さ1m以上、幅約0.8mの溝である。出土遺物は、弥生土器（18・19・21）のみで玉作関連の出土はない。

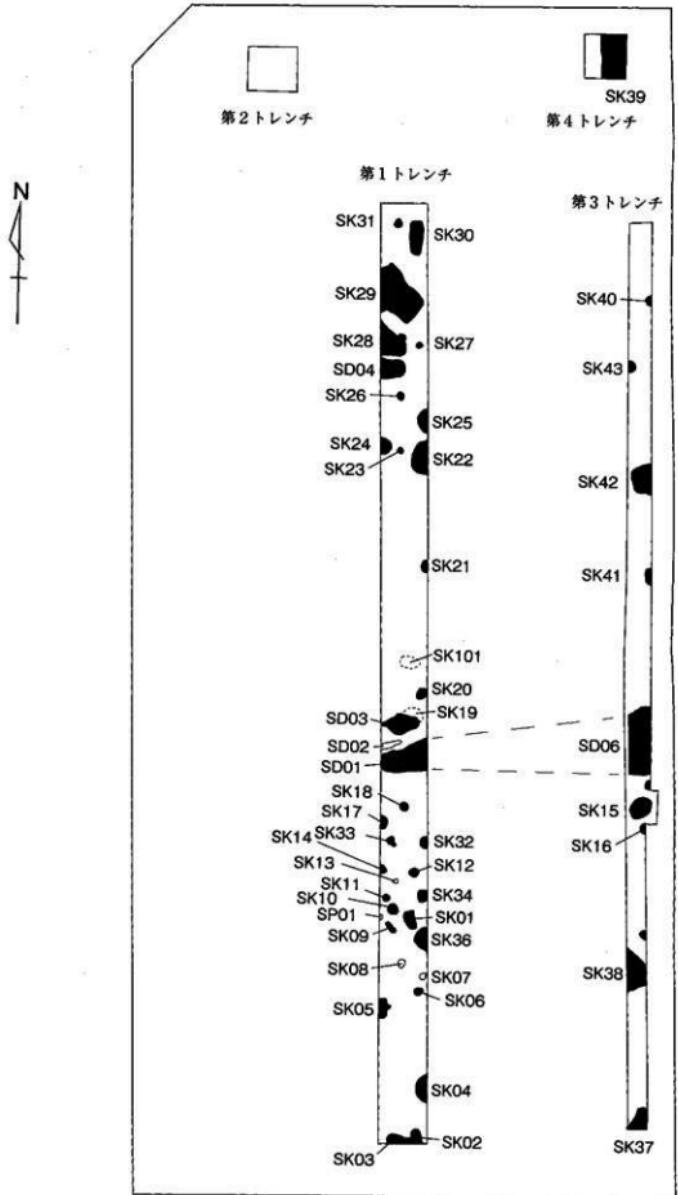
出土遺物（第18・19図）

出土遺物は、弥生土器（中期～後期：壺・甕）、古代須恵器（蓋）、近世越中漬戸等が出土した。半裁して性格を確認した遺構からは、弥生土器のみが出土している。下記に出土した弥生土器を紹介する。

1は有段口縁壺で、口縁部外面に櫛描羽状文を、頸部に横線文を施す。2は甕で、口縁部は形成せず、口唇部は刻目文を施す。3は甕で、口唇部外面に刻目文を施す。4は壺。口唇部を形成するもので、口縁内面と口唇部に櫛描波状文を施す。5は長頸壺で、頸部に5～6条1単位の櫛描平行線文とその区間に、櫛描波状文を施す。6は壺の底部。外面はタテハケ調整。7は台付鉢の脚部か。外面はタテハケ調整。8は甕で、外面はタテハケ、内面はヘラナデ調整。9は壺の底部。肥厚な底部で、外面はタテハケ調整。10は甕の体部で、外面はタテハケ、内面はヘラナデ調整。11は甕で、口縁のゆがみがあり、口唇部は刻目文を施す。外面はタテハケ、ヨコハケ、内面はヨコハケ調整。12は壺の底部。外面はタテハケ調整。13は壺の底部か。外面はタテハケ、内面はヘラナデ・ヨコハケ調整。14は甕の底部。外面はタテハケ調整。15は短頸壺で、体部外面は摩耗しているが、ミガキが入る可能性がある。直線文に近いヨコハケ、内面はヘラナデとヨコハケ調整。16は壺で、受口状の口縁で口唇部に羽状文を施す。口縁部は櫛描羽状文、頸部はナデ、体部はタテハケ調整。内面はナデ調整。17は甕か壺の底部。内面はハケ・ナデ調整で、底部は穿孔痕跡あり。18は壺の底部。外面はタテハケ、内面もハケ・ヘラナデ調整。19は短頸甕で、口唇部は櫛状工具の刻み目を施し、外面頸部までハケ、ナデ調整。20は甕で、口縁付近はヨコナデ、体部はタテハケ調整。内面口縁部はヨコナデ、体部～底部はヘラナデ・ヘラケズリ調整。21は甕。口唇部は櫛状工具連続刻みで、体部はヨコハケに刺突、列点文を施す。内面は口縁部ナデ、体部はタテハケ調整。22は甕。口唇部は刻目文、頸部はナデで体部はヨコハケ調整。内面はヨコハケ調整。23は壺の底部か。外面はタテハケ、内面はヘラナデ・ヘラケズリ調整。24は甕の底部。外面はタテハケ、内面はヘラナデ・ケズリ調整である。

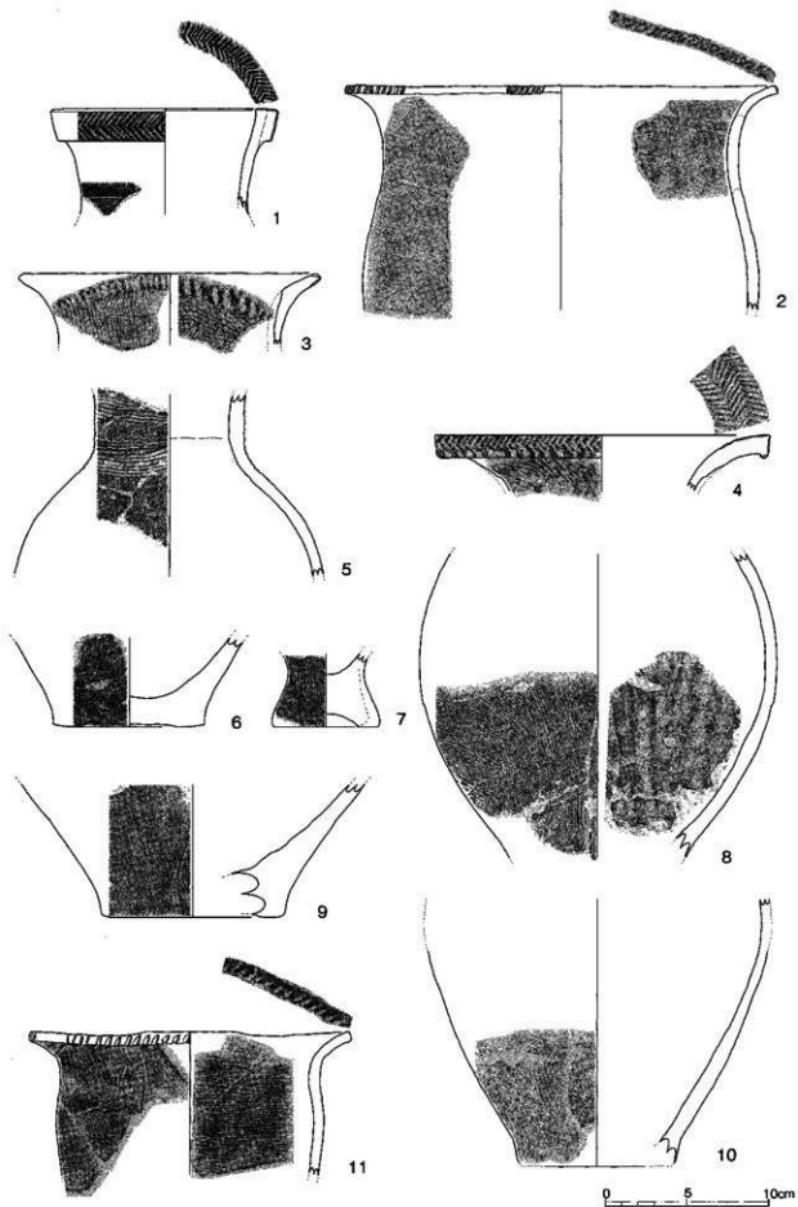
小結として、遺構は南側に柱穴群、北側に土坑群がまとまって検出された。また遺構出土の遺物は弥生中期に限定される。出土する弥生土器の底部は端部までタテハケで調整され、多くの遺物は八日市地方編年7・8期ごろに帰属すると見られる。加えて、緑色凝灰岩の剥片やヒスイの原石（図版09-3）も土坑から出土することから、玉作をする集落の一部と考えられる。

中保A遺跡が立地する佐野台地上には、弥生中期の遺物や遺構が確認されている。集落・墓域双方が確認されている石塚遺跡や建物跡が検出された下老子笹川遺跡等と合わせて考えると貴重な調査になった。



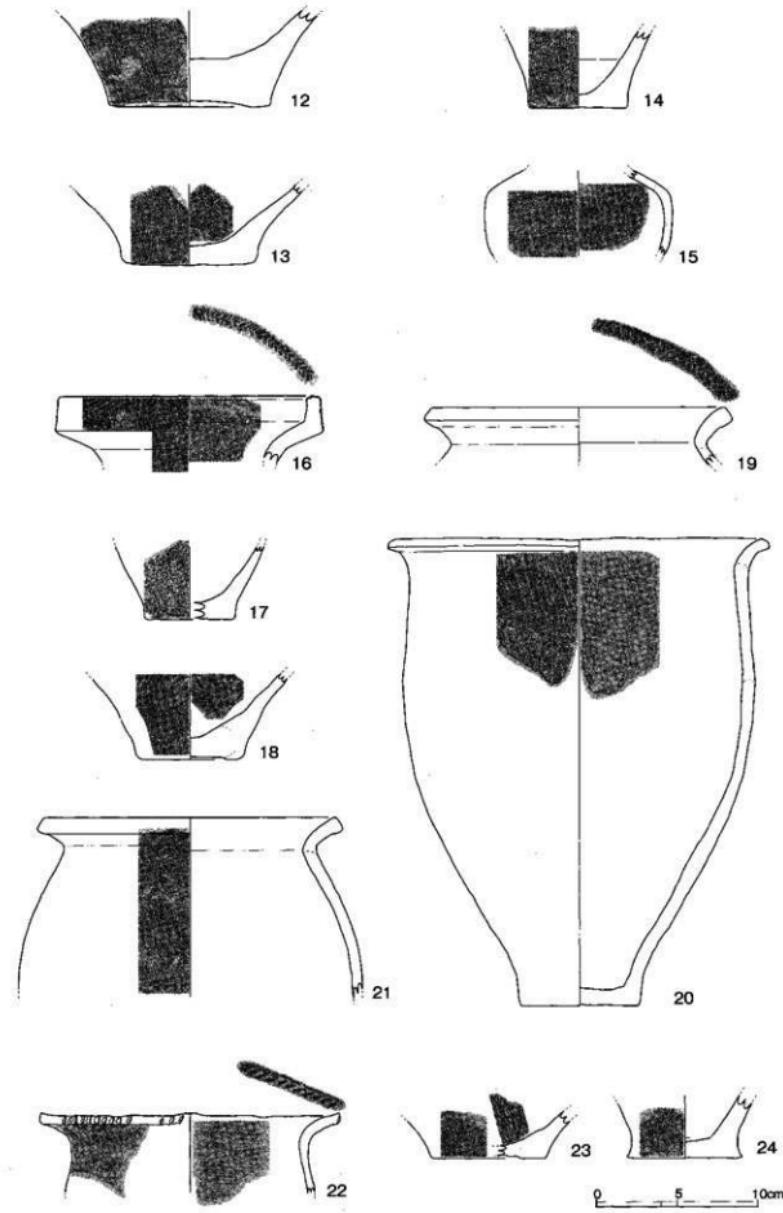
0 5 10m
S : 1/200

第17図 中保A遺跡(竹下地区)平面図



第18図 造物実測図 (1/3)

SK 101 (1・2) SK 15 (3~6・8) SK 16 (9) SK 22 (7) SK 29 (10) SK 38 (11)



第19図 遺物実測図 (1/3)

SK 35 (13) SK 37 (14) SD 01 (16・17・20) SD 04 (18・19・21) SD 06 (15・23) SK 39 (12)

15. 井口本江遺跡（武内地区）

所 在 地 高岡市井口本江字江指廻 11番1、12番1、13番1、14番

高岡市出来田 289番3、288番1

調査期間 平成26年10月2日、3日、7日

対象面積 1,733m²

試掘坑 2本

発掘面積 約66.6m²

調査原因 集合住宅建設

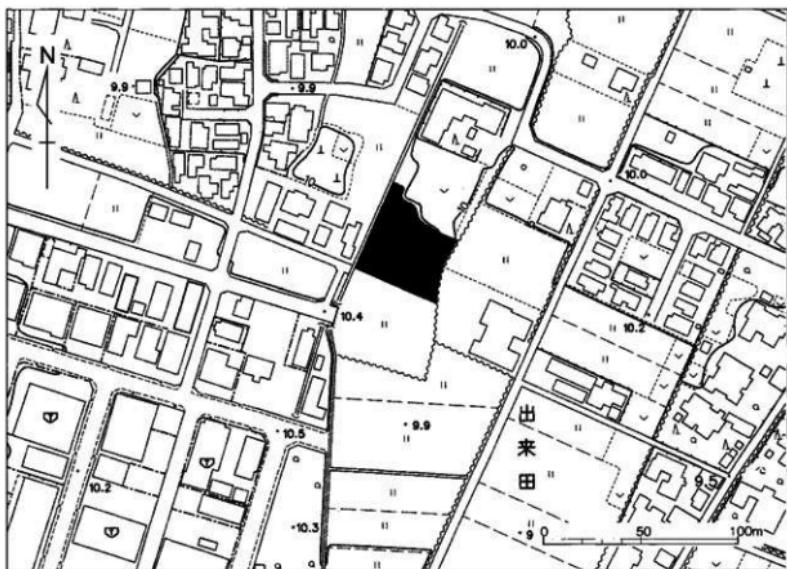
検出遺構 溝2条

出土遺物 繩文土器、須恵器（杯・蓋・壺・瓶・甕）、中世珠洲（擂鉢・甕）、時期不明土師器

調査概要

本地点は遺跡の南側にあたる。過年度の高岡市教委による本発掘調査、試掘調査と県道能町庄川線建設に伴う発掘調査の結果、縄文晩期から近世まで断続的に遺構・遺物とも見つかっている。本地点周辺は古代の集落や自然流路等が見つかっている。

試掘調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約30~40cmで遺構は溝2条が検出され、遺物は縄文土器、須恵器（杯・蓋・壺・瓶・甕）、時期不明土師器が出土した。対象地北側に設定した第1トレーナーで検出した溝は幅1m以上、深さ約40cm程度で縄文から中世の幅広い時期の遺物が出土している。周辺で建物は確認できないが、集落が付近に広がると考えられる。



第20図 井口本江遺跡（武内地区）調査区位置図

16. 赤祖父羽佐間遺跡（金山不動産地区）

所 在 地 高岡市赤祖父 62番

調査期間 平成 26年 10月 29日、30日

対象面積 2,000m²

試掘坑 1本

発掘面積 約 66m²

調査原因 個人住宅建設

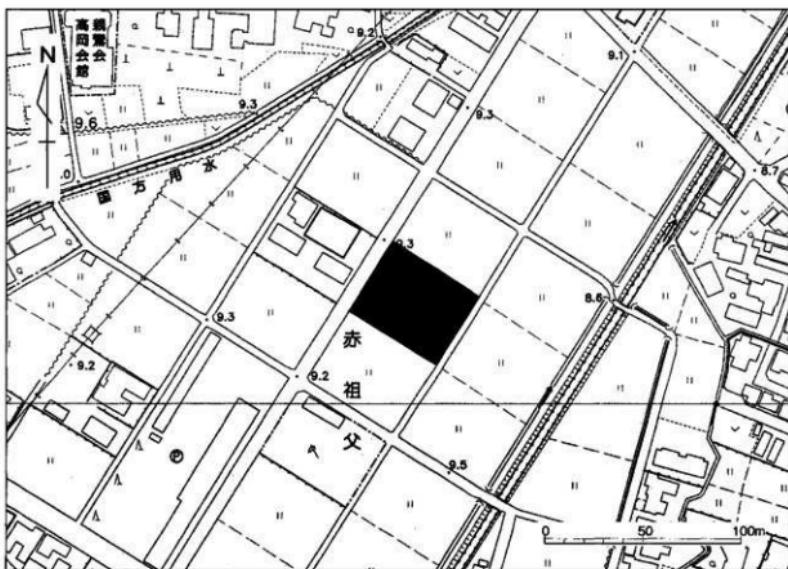
検出遺構 溝1条

出土遺物 なし

調査概要

本地点は遺跡北側の隣接地にある。周辺の試掘結果では中世の集落や、古代～中世の遺物が見つかっている。

試掘調査は対象地に試掘坑を1箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約 20～40cm にて溝1条が検出されたが、遺物は検出されなかった。1995年の遺跡北側の本調査で中世の集落が見つかっているが、当地までは集落の広がりは見られないことが確認され、遺跡の範囲内で収まる可能性が高いことが指摘できる。



第21図 赤祖父羽佐間遺跡（金山不動産地区）調査区位置図

17. 上北島遺跡（石黒地区）

所 在 地 高岡市上北島 314 番 2

調 査 期 間 平成 26 年 11 月 4 日、5 日

対 象 面 積 929m²

試 挖 坑 3 本

発 挖 面 積 約 27m²

調 査 原 因 集合住宅建設

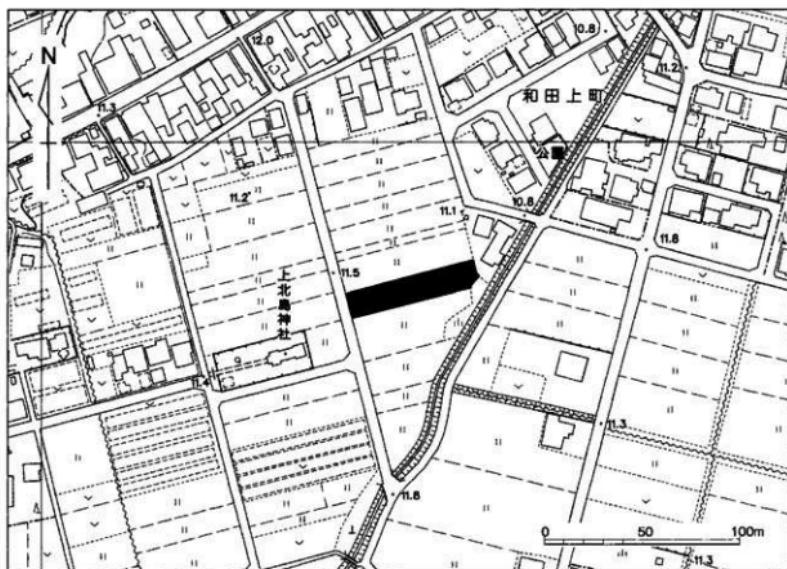
検 出 遺 構 土坑 2 基、溝 3 条

出 土 遺 物 なし

調査概要

本地点は遺跡の北東側の隣接地に位置する。周辺の調査では、弥生～中世の遺物が検出されているが、時期が判明している遺構はない。

試掘調査は対象地に試掘坑を 3 個所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約 20 ～ 30cm にて、遺構検出面を確認した。そのうち、2箇所の試掘坑から土坑 2 基と溝 3 条が検出されたが、遺物は検出されなかった。



第 22 図 上北島遺跡（石黒地区）調査区位置図

18. 中曾根北遺跡（竹口地区）

所 在 地 高岡市中曾根 189 番 3

調査期間 平成 26 年 11 月 17 日

対象面積 324.57m²

試掘坑 2 本

発掘面積 約 6.0m²

調査原因 個人住宅建設

検出遺構 なし

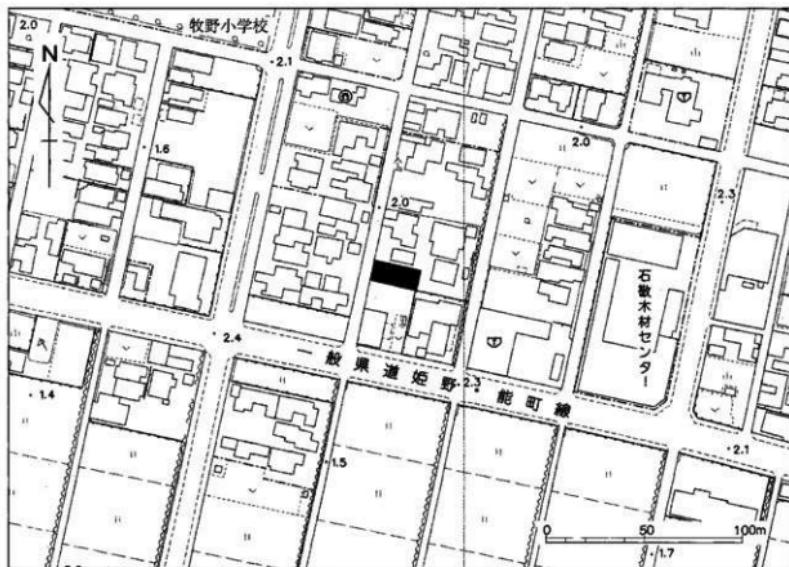
出土遺物 なし

調査概要

本地点は遺跡の南西側に位置する。中曾根北遺跡については、過年度高岡市教委による試掘調査が行われているが、遺構・遺物とも検出されていない。

試掘調査は東側と西側に試掘坑を 2 箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約 50 ~ 60cm、標高 2m 付近で粘土層を確認したが、遺構・遺物とも検出されなかった。

対象地東側に設定した第 1・2 トレンチでは、標高約 2m 付近に青色に変色している粘土層を確認した。これは、黄褐色粘土質が水分によって変色したものと考えられ、基盤層と推定される。基盤層は、以前建っていた住宅の基礎等で搅乱を受けていることから、削平を受けていると推定される。



第 23 図 中曾根北遺跡（竹口地区）調査区位置図

19. 瑞穂町遺跡（ア・ライズ2地区）

所 在 地	高岡市瑞穂町 152 番 1
調査期間	平成 26 年 11 月 20 日、21 日
対象面積	2,625m ²
試掘坑	3 本
発掘面積	約 165.6m ²
調査原因	宅地造成
検出遺構	なし
出土遺物	縄文土器片、古墳土師器（高杯）、古代須恵器、中世珠洲（擂鉢）、中世土師器、時期不明土師器
調査概要	

本地点は遺跡の北東側の隣接地に位置する。周辺の調査では、弥生～中世の遺物が出土している他、古墳後期の遺構等が検出されている。

試掘調査は対象地に試掘坑を 3 個所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約 20 ～ 30cm にて地山を確認した。調査地区南西側は地表面下約 80cm にて地山を検出している。遺構は検出されなかった。遺物は縄文土器片、古墳土師器（高杯）、古代須恵器、中世珠洲（擂鉢）、中世土師器、時期不明土師器が出土した。これらの遺物は遺構に伴うものではなく、流れ込みと考えられる。



第24図 瑞穂町遺跡（ア・ライズ2地区）調査区位置図

20. 菊島前川原遺跡（林地区）

所 在 地 高岡市福岡町大浦 1304 番 3

調 査 期 間 平成 26 年 11 月 26 日

対 象 面 積 330m²

試 挖 坑 1 本

発 挖 面 積 約 13.5m²

調 査 原 因 個人住宅建設

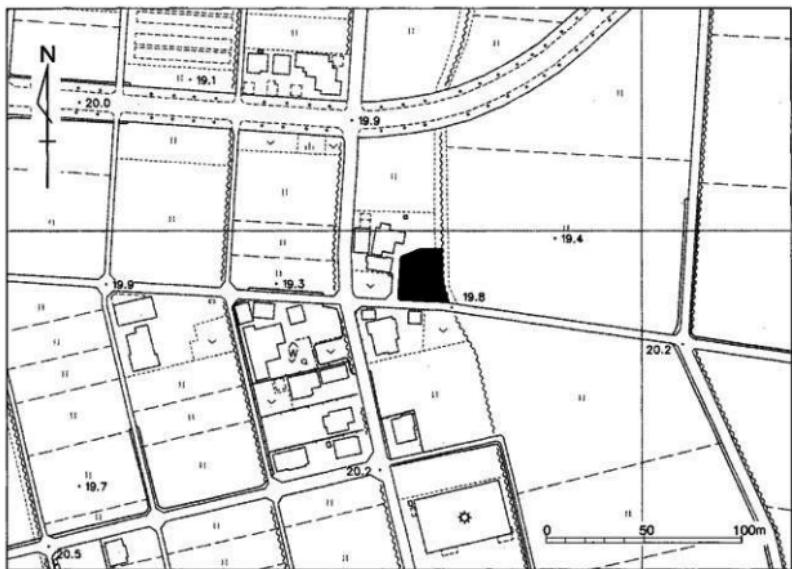
検 出 遺 構 なし

出 土 遺 物 なし

調査概要

本地点は遺跡の南側に位置する。本遺跡については、2002年度福岡町教委による試掘調査が行われ、中世後半の遺物と、柱痕や井戸を検出している。

試掘調査では、対象地中央に設定した第1トレンチで、地表面下約 20 ~ 30cm、標高 18.2 m付近にて灰色の地山を確認し、遺構・遺物とも検出されなかった。地山の下層には、小円礫を含んだ堆積層を確認している。



第25図 菊島前川原遺跡（林地区）調査区位置図

21. 越中国府関連遺跡（中山・今井地区）

(中山地区)		(今井地区)	
所 在 地	高岡市伏木一宮大平	高岡市伏木一宮 2丁目 315	
調査期間	平成 26 年 11 月 27 日	平成 27 年 2 月 17 日	
対象面積	14.4m ²	181.72m ²	
試掘坑	2 本	2 本	
発掘面積	約 3.12m ²	約 23m ²	
調査原因	トイレ建設	個人住宅建設	
検出遺構	溝 1 条	なし	
出土遺物	古代土師器	なし	

調査概要

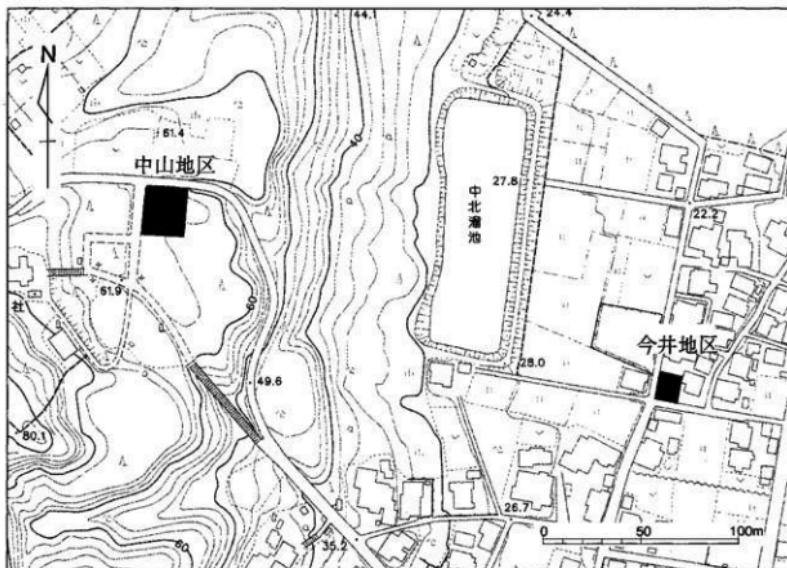
中山地区は遺跡の北西側に位置する。過年度の高岡市教委による市道拡幅による本発掘調査、試掘調査等の結果、縄文時代や古代後半の土師器や瓦が見つかっている。また境内地の外側でも埠塲など宗教関係の遺物の出土もある。

試掘調査は北側に試掘坑を 2 箇所設定し、地下の状況を把握したところ、溝 1 条が検出された。古代土師器が出土したが、溝からの出土ではなく、西側の境内地からの流れ込みの可能性が高い。

今井地区は遺跡の北側に位置し、対象地の西側の丘陵には氣多神社がある。付近では溜池を造成した際に、大量の遺物が見つかったとの話もある。

試掘調査は対象地に試掘坑を 2 箇所設定し、地下の状況を把握したところ、遺構・遺物は検出されなかった。

対象地南北方向に設定した第 1・2 ドレンチとも、地表面下約 50cm、標高 21.5 m 付近まで掘り下げたところ、地山を確認した。



第 26 図 越中国府関連遺跡（中山・今井地区）調査区位置図

22. 出来田南遺跡（トラストホーム地区）

所 在 地 高岡市出来田 255 番地 3

調査期間 平成 26 年 12 月 8 日

対象面積 310.05m²

試掘坑 2 本

発掘面積 約 8.0m²

調査原因 個人住宅建設

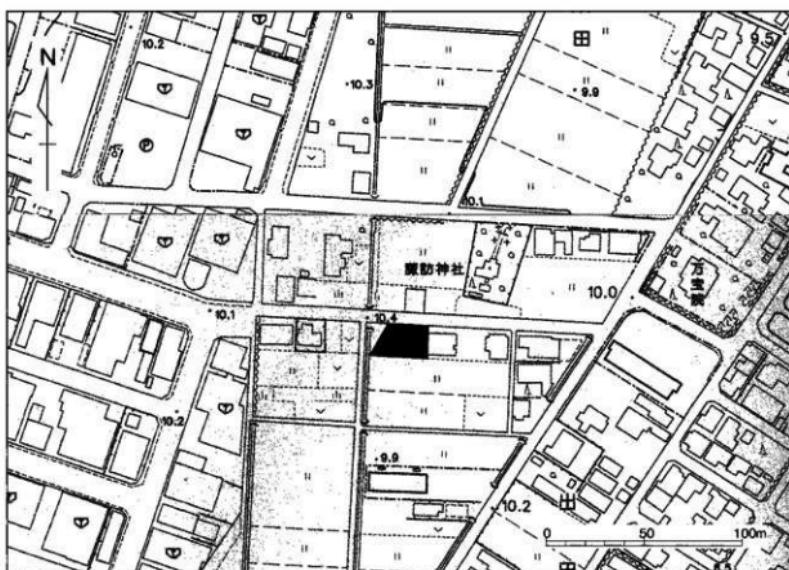
検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査概要

本地点は遺跡の北側に位置する。過年度の高岡市教委による本発掘調査、試掘調査と県道能町庄川線建設に伴う発掘調査の結果、主に古代から近世まで断続的に遺構・遺物とも見つかっている。本地点周辺は古代、中世の集落が見つかっている。特に古代・中世の掘立柱建物、区画溝や井戸が見つかっており、その広がりが予想された。

試掘調査は東西に試掘坑を 2 箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約 70 ~ 80cm で地山を確認したが、遺構・遺物とも検出されなかった。ただし、県道能町庄川線沿いでは、掘立柱建物が見つかっているため、近隣の調査で集落の広がりを注意する必要がある。



第27図 出来田南遺跡（トラストホーム地区）調査区位置図

23. 越中国府関連遺跡（ポケットパーク地区）

所 在 地 高岡市伏木古国府 474 番 2

調査期間 平成 26 年 12 月 16 日

対象面積 319.57m²

試掘坑 3 本

発掘面積 約 15m²

調査原因 公園造成

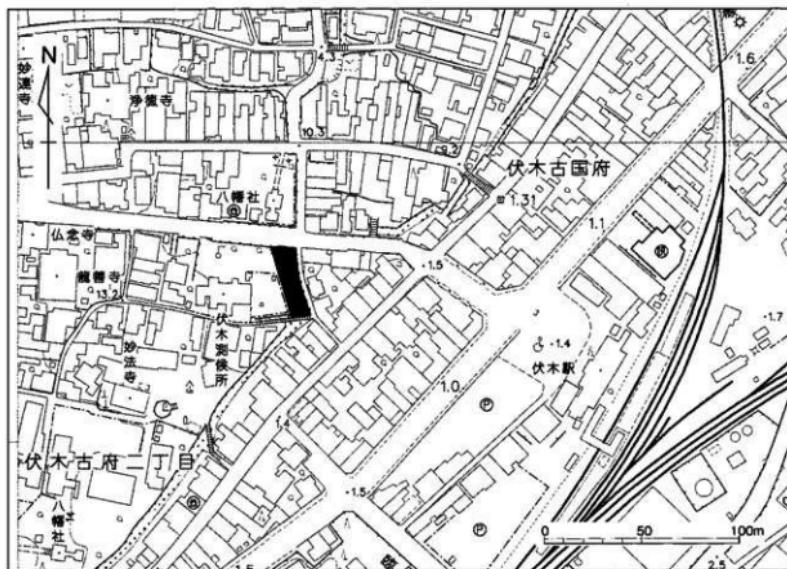
検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査概要

本地点は遺跡の東側に位置する。平成 2 年度に調査を行った伏木測候所地区の東隣にあたる。付近では測候所地区で古代の建物も検出されており、「越中国守館址」と「朝床に問けば遙けし射水川朝漕ぎしつつ唱う船人」と刻まれた歌碑がある。館に関する字も残っており、国守館址の推定地として知られている。万葉集卷 19 の 4150 番の詩から国司館跡と推定されている。

試掘調査は対象地に試掘坑を 3 箇所設定し、地下の状況を把握したところ、遺構・遺物とも検出されなかった。対象地南側に設定した第 1 レンチでは、地表面下約 70cm まで掘り下げたが、近現代の瓦等が混入した盛土が深くまで続いていた。対象地中央に設定した第 2 レンチでは、地表面下約 50 ~ 70cm まで掘り下げたところ、褐色の地山を確認した。



第 28 図 越中国府関連遺跡（ポケットパーク地区）調査区位置図

24. 下佐野遺跡（米田地区）

所 在 地 高岡市佐野 631 番 2

調 査 期 間 平成 26 年 12 月 19 日

対 象 面 積 491.53m²

試 掘 坑 1 本

発 掘 面 積 約 9.0m²

調 査 原 因 個人住宅建設

検 出 遺 構 溝 2 条

出 土 遺 物 繩文土器、古墳土師器、古代須恵器、古代土師器、時期不明土師器

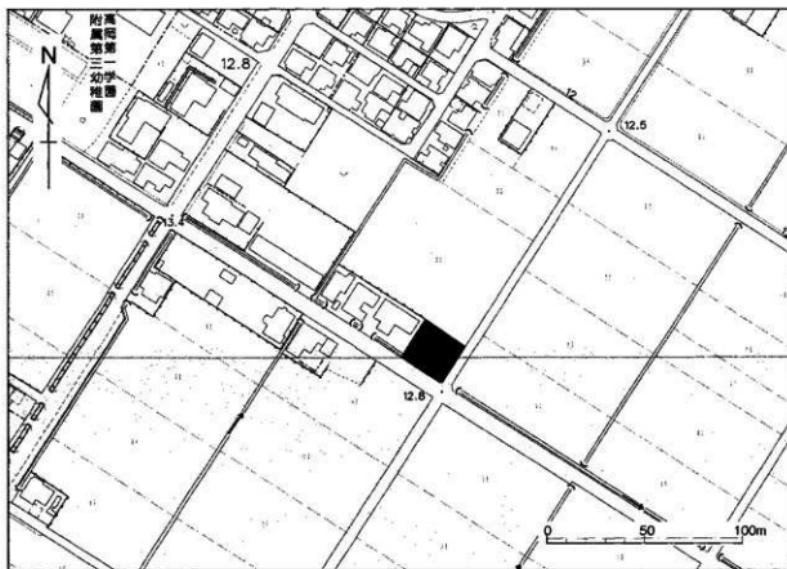
調 査 概 要

本地点は遺跡の南側にある。過年度の発掘調査の結果、弥生時代から近世まで断続的に遺構・遺物とも見つかっている。特に高岡環状線建設に伴う本発掘調査によって、弥生時代後期の周溝墓や古代・中近世の遺構が確認されている。

試掘調査は対象地に試掘坑を 1 個所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約 50 ~ 70cm、標高 118 m 付近で地山を検出した。

遺構は溝 2 条が検出され、遺物は縄文土器、古墳土師器、古代須恵器、古代土師器、時期不明土師器が出土した。

対象地中央に設定した第 1 トレンチで検出した溝 S D 01 からは、幅約 20 m、深さ約 20 cm 程度で古代の遺物が出土している。



第 29 図 下佐野遺跡（米田地区）調査区位置図

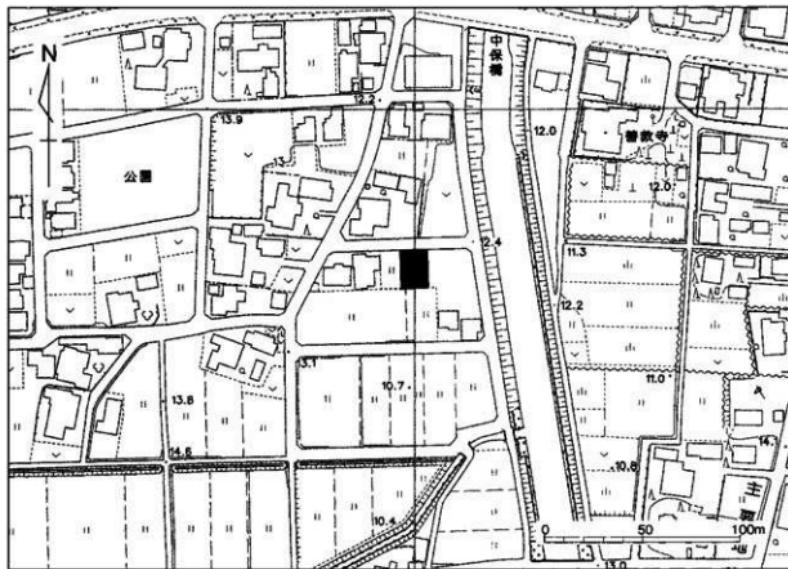
25. 中保B遺跡（中村地区）

所 在 地 高岡市中保 1431番
調査期間 平成 27年 1月 23日
対象面積 279.70m²
試掘坑 1本
発掘面積 約 9.0m²
調査原因 個人住宅建設
検出遺構 なし
出土遺物 なし

調査概要

本地点は遺跡の南東側に位置する。周辺の試掘結果では古代・中世の遺構と遺物が見つかっており、西高岡駅南東側と区画整理による本調査の範囲にて遺構の分布を確認している。

試掘調査は対象地に試掘坑を1箇所設定し、地下の状況を把握したところ、遺構・遺物とも検出されなかった。対象地北中央に設定した第1トレーナーでは、地表面下約 60 ~ 80cm まで掘り下げたところ、約 30 ~ 40cm 下で灰色の礫を含む砂層を検出した。部分的に深堀をかけ約 70cm まで掘削したが、地山は確認できなかった。



第30図 中保B遺跡（中村地区）調査区位置図

26. 江尻C遺跡（川島地区）

所 在 地 高岡市江尻白山町 97 番

調査期間 平成 27 年 2 月 16 日

対象面積 335m²

試掘坑 1 本

発掘面積 約 2.0m²

調査原因 個人住宅建設

検出遺構 なし

出土遺物 なし

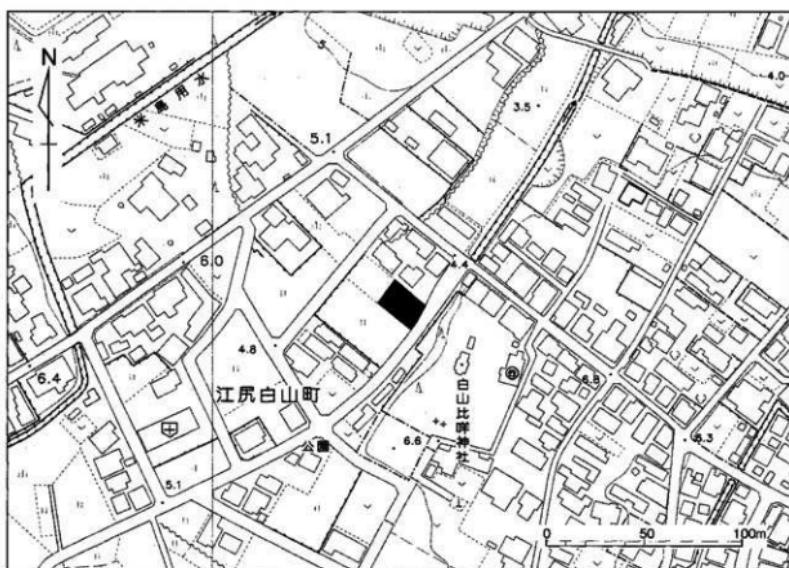
調査概要

本地点は江尻C遺跡の北西に位置し隣接地にある。江尻C遺跡は発掘調査成果が少ない。

試掘調査は対象地に試掘坑を 1 個所設定し、地下の状況を把握したところ、造構・遺物とも検出されなかった。

対象地は、地権者によって既に造成されており、隣の水田の田面よりも約 60cm 造成されていた。

対象地中央に設定した第 1 トレーナーでは、地表面下約 100cm、標高 3.9 m 付近まで掘り下げたが盛土のみが確認され、地山は検出されなかった。隣の水田より約 40cm 深く掘削したが、盛土しか確認されなかったため、造成時に地山面を擾乱している可能性も考えられる。遺物が検出されないため、本地点周辺には流れ込みの遺物も存在しないようである。



第 31 図 江尻C遺跡（川島地区）調査区位置図

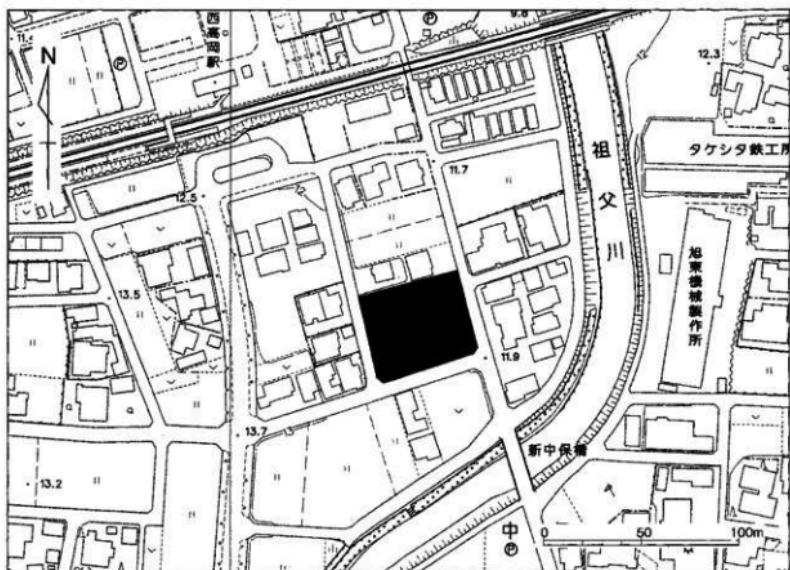
27. 中保B遺跡（天野地区）

所 在 地 高岡市中保 1246 番
調 査 期 間 平成 27 年 2 月 18 日～20 日
対 象 面 積 2,320.21m²
試 掘 坑 2 本
発 挖 面 積 約 148m²
調 査 原 因 宅地造成
検 出 遺 構 なし
出 土 遺 物 なし

調査概要

本地点は遺跡の北側に位置する。周辺の試掘結果では古代・中世の遺構と遺物が見つかっており、西高岡駅南東側と区画整理による本調査の範囲にて遺構の分布を確認している。

試掘調査は対象地に試掘坑を 2 個所設定し、地下の状況を把握したところ、遺構・遺物とも検出されなかった。対象地北に設定した第 1 トレンチでは、地表面下約 60～70cm まで掘り下げたところ、約 30～40cm で灰色の砂質シルトを検出した。部分的に深堀をかけ約 140cm 挖削したが、地山は確認できなかった。



第 32 図 中保 B 遺跡（天野地区）調査区位置図

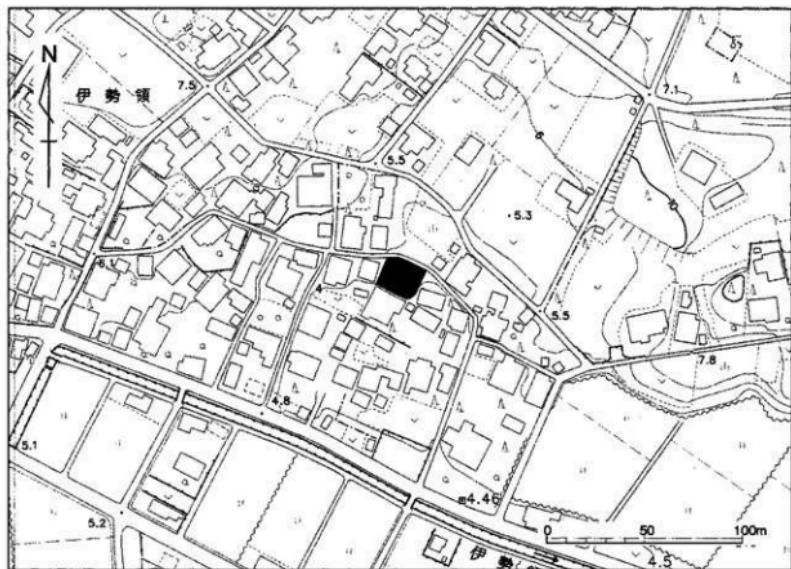
28. 伊勢領遺跡（新川地区）

所 在 地 高岡市太田字伊勢領 1633番1、1633番7の一部
調査期間 平成27年2月24日
対象面積 499.85m²
試掘坑 1本
発掘面積 約12m²
調査原因 個人住宅建設
検出遺構 なし
出土遺物 なし

調査概要

本地点は遺跡の南西側に位置する。周辺の試掘結果では時期不明の土師器等が見つかっているが、遺構は検出されていない。

試掘調査は対象地に試掘坑を1箇所設定し、地下の状況を把握したところ、遺構・遺物とも検出されなかった。対象地北中央に設定した第1トレチでは、地表面下約50cmまで掘り下げたところ、約30～40cmで褐色の砂を検出した。その下層に黒色の砂層が堆積しており、確認のため部分的に深掘をかけ約100cm掘削し、黒色砂層が続くことを確認したが、明確な地山は検出はできなかった。



第33図 伊勢領遺跡（新川地区）調査区位置図

29. 立野地頭田遺跡（キャピタル地区）

所 在 地 高岡市立野 1280番1、1281番1

調査期間 平成27年2月26日～3月2日

対象面積 1,760m²

試掘坑 3本

発掘面積 約165m²

調査原因 介護施設建設

検出遺構 溝4条、土坑2基

出土遺物 古代須恵器（杯）、瀬戸美濃、時期不明土師器

調査概要

本地点は遺跡の中央に位置する。平成23年度の市道建設による試掘調査では、圃場整備による近現代の搅乱跡が確認されている。遺物の出土は少量であった。

試掘調査は対象地に試掘坑を3箇所設定し、地下の状況を把握したところ、対象地南側に設定した第1・2トレンチでは、表土からの深さ約30～40cm程度で、溝4条と土坑2基を検出した。そのうち、溝SD 01は北東から南西方向に続いていることを確認した。溝からは古代須恵器等が出土しており、古代より後の時代のものと考えられる。それ以外の溝は連続性が確認されない。土坑からは、時期不明の土師器が出土している。掘り方は浅く、圃場整備の影響を受け、遺構の検出状況は悪く、集落等の可能性は低い。出土遺物は古代～中世の遺物が少量出土しており、溝から出土する土器類の割れ口が丸く、ローリングを受けている。そのため、周辺の集落からの流れ込みと考えられる。



第34図 立野地頭田遺跡（キャピタル地区）調査区位置図

30. 古定塚遺跡（村本地区）

所 在 地 高岡市中川1丁目94、95、93-1

調査期間 平成27年3月13日、16日

対象面積 913m²

試掘坑 5本

発掘面積 約12.85m²

調査原因 宅地造成

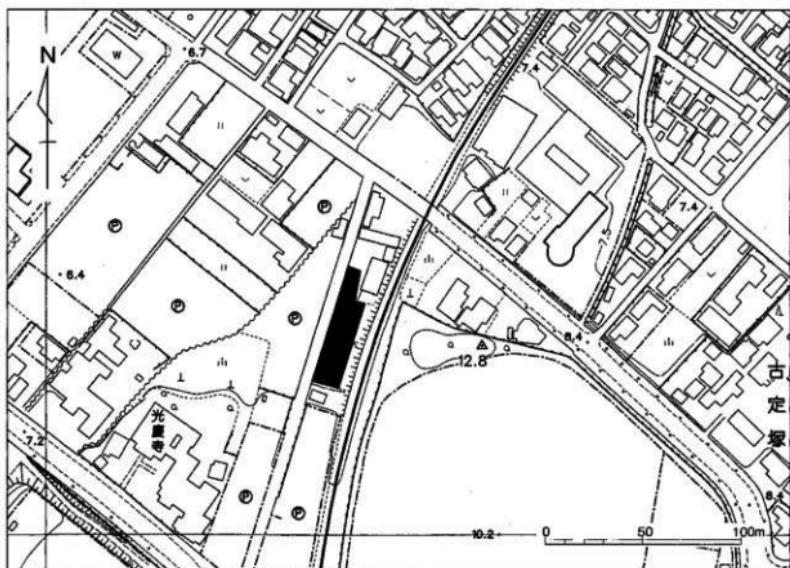
検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査概要

本地点は遺跡の南西に位置し、入定塚の辺縁にある。平成18年度の試掘調査では、遺構・遺物とも検出されていない。

試掘調査は対象地に試掘坑を5箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約80～90cmにて地山を確認したが、遺構・遺物とも検出されなかった。



第35図 古定塚遺跡（村本地区）調査区位置図

31. 蓮花寺遺跡（山村地区）

所 在 地 高岡市蓮花寺 457-5、457-6

調査期間 平成27年3月24日～27日

対象面積 357.48m²

試掘坑 2本

発掘面積 約28.95m²

調査原因 個人住宅建設

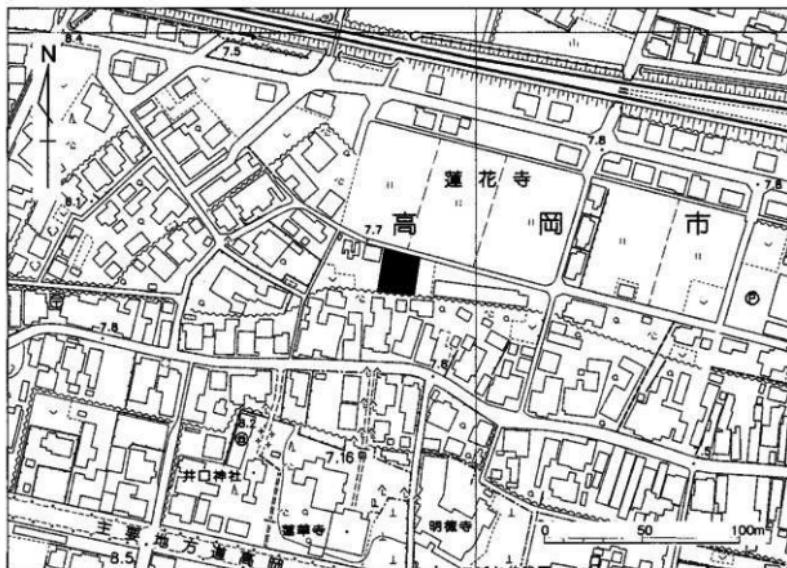
検出遺構 溝1条

出土遺物 なし

調査概要

本地点は遺跡の南側に位置する。古代・中世の遺物の出土はあるが、明確な遺構は検出されていない。

試掘調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、対象地西側に設定した第1トレンチにおいて、地表面下約50cmで溝1条を検出した。遺物の出土はなかった。



第36図 蓮花寺遺跡（山村地区）調査区位置図

32. 山園町遺跡（折橋地区）

所 在 地 高岡市二上 578-34、578-35

調査期間 平成27年3月30日

対象面積 337.41m²

試掘坑 2本

発掘面積 約4.5m²

調査原因 個人住宅建設

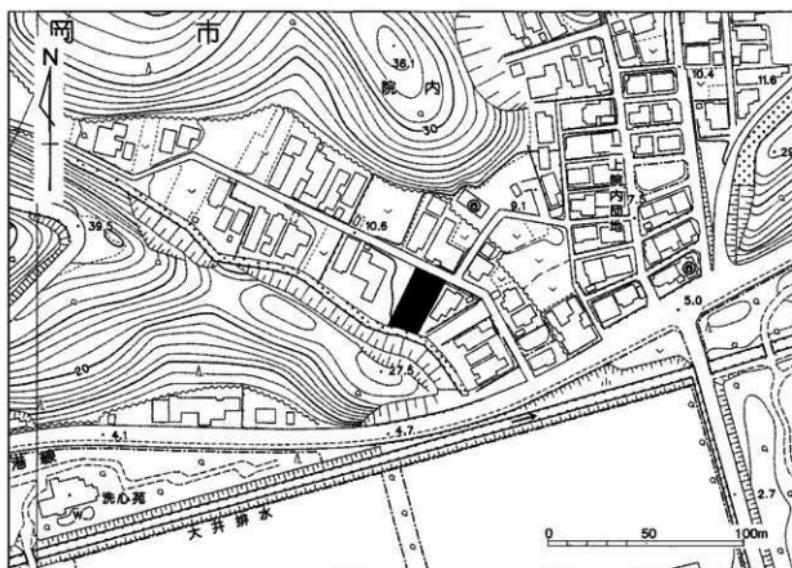
検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査概要

本地点は遺跡の南西に位置し隣接地にあたる。山園町遺跡では、古代～中世の遺構・遺物が見つかっており、急傾斜地の事業に伴い多くの土坑や横穴墓が見つかっている。

試掘調査は対象地に試掘坑を2箇所設定し、地下の状況を把握したところ、地表面下約80～90cm、標高9.7～9.8m付近で地山を確認したが、遺構・遺物とも検出されなかった。



第37図 山園町遺跡（折橋地区）調査区位置図

市内分布調査

第3章 市内分布調査

第1節 調査の経緯と目的

高岡市、旧福岡町の埋蔵文化財包蔵地は、昭和47年（1972）に富山県教育委員会文化財課より発行された『富山県遺跡地図』に掲載されており、それを使用して遺跡の把握に努めてきた。しかし、農地転用等の各種開発行為が増加したことから、より詳細な遺跡地図が必要となってきた。

これらの経緯を踏まえて高岡市では、昭和58～62年度（1983～1987）の5ヵ年をかけて、西山丘陵遺跡分布調査事業を行い、小矢部川左岸一帯の西山・二上地域（西山丘陵・二上丘陵とその周辺の平野部）の約6,000haを踏査した。また、平成元年～平成10年度（1989～1999）の10ヵ年をかけて、市内遺跡分布調査事業を行い、西山丘陵遺跡分布調査事業の対象地以外の約9,000haを踏査した。そして、二つの事業の成果をまとめて、平成11年度（2000）に『高岡市遺跡地図』を作成し、埋蔵文化財包蔵地の周知を図った。

現在、その後の調査や研究において新しい知見から、埋蔵文化財包蔵地の可能性があるものや、風化等で石造物などが破損しているものが確認されている。

そのため、高岡市教育委員会では、新規の埋蔵文化財包蔵地の確認や既存の埋蔵文化財包蔵地の内容の確認を目的に分布調査を行うこととした。

第2節 調査の経過

平成26年度は、高岡市福岡町上向田に古代北陸道の痕跡があるという情報から、古代北陸道の地形測量を行うこととした。現況地形測量には（株）エイ・テックに委託し、調査や成果に関しては、高岡市文化財審議委員の西井龍儀氏より指導をいただいた。

現況地形測量は平成26年度に行い、調査期間は平成27年2月20日から平成27年3月27日までである。

第3節 位置と環境

第1項 地理的環境

調査対象地は、高岡市福岡町上向田と上野地区との中間地点であり、小矢部川左岸に位置している。西側の丘陵と東側の小矢部川に挟まれた部分に沖積平野が細長く帯状に広がっており、その規模は南北3.6km、東西5.4km、面積9.64km²を測る。この場所は、小矢部川の流路の変化による影響を受けやすい場所に立地しているが、丘陵裾部に関するいえば、相対的に標高が高いこともあり、古くから集落が営まれていた。上向田という地名は、向田から派生している。向田は康平7年（1064）に源義家が越中守の時、家臣の向田行光に命じて開拓した場所で、当初は向田村であったが文禄2年（1593）の検地の際に上向田・下向田の2ヵ村に分かれたという。また、上野は、上向田の上流にある原野であったことから命名されたという。



第38図 調査位置図



調査対象地の航空写真 南西から

第2項 歴史的環境

1 周辺の遺跡

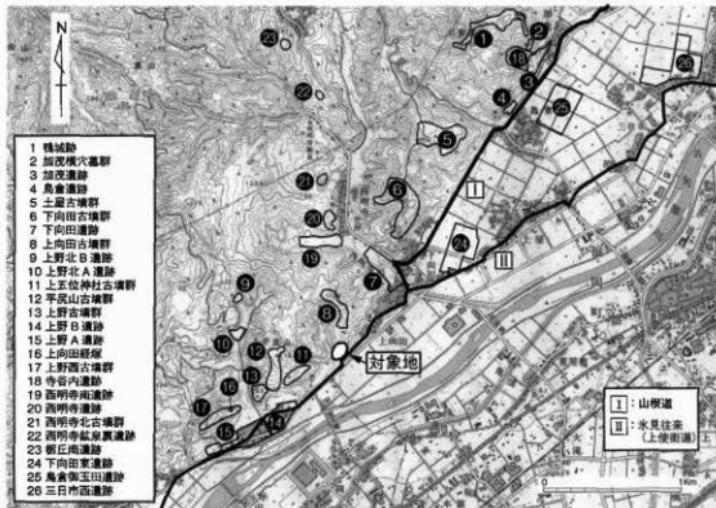
調査対象地が所在する西五位地区でこれまで確認されている周知の埋蔵文化財包蔵地は、26 遺跡を数える。発掘調査が実施された遺跡は「上野 A 遺跡」と「下向田古墳群」「寺谷内遺跡」の 3 遺跡である。下向田古墳群は、公園と靈園の整備に先立ち発掘調査が実施され、1 次調査の成果は概報として刊行されている（『富山県福岡町下向田古墳群試掘調査概報』福岡町教育委員会：1985）。調査の結果、当初 15 基と推定された古墳の内 1 基は古墳でないことが明らかになった。高岡市指定の史跡となっている。

上野 A 遺跡は、車庫・農作業場の建設に伴う小規模な調査と上野西線の道路改良工事に伴う調査が実施され、それぞれ報告書が刊行されている（『富山県福岡町上野 A 遺跡発掘調査報告Ⅰ』福岡町教育委員会：2003）。縄文時代の堅穴住居や繩文土器・石器などを主体としつつ、弥生時代や古代の遺物が出土している。

寺谷内遺跡の以前の名称が伝雲龍寺跡であり、平成 19 年度の岸谷川砂防改良事業に伴う試掘調査結果から、遺跡名を改称したものである。雲龍寺の歴史は古く、永正 8 年（1511）に越中国五位莊高畠村（加茂）に開山し、慶長 6 年（1601）に加賀の地に移転したと記録が残る。雲龍寺の資料として、平成 11 年（1999）に谷奥の川底から見つかった「無縫塔」が挙げられる。この無縫塔の碑文には、「現住十九代魯溪」が移転先の加賀から、雲龍山を開山した「以州須永大和尚」の 250 回忌（明和 8 年 =1768 年と推測される）を記念して、開山の地に建立したと記されている。砂防改良事業に伴う発掘調査では、柵列や横穴墓、縄文時代から中世にかけての遺物が確認され、報告書が刊行されている（『寺谷内遺跡・寺谷内横穴墓調査報告』高岡市教育委員会：2009）。

2 山根道と水見往来

小矢部川に沿ってその左岸に続く道は、古代からの官道で、都と越中国府を結ぶ道であったと考えられている。この道は、中世では、新湊市の放生津にある越中守護所、近世初頭は高岡市守山の守山城を結び、「山根道」と呼ばれていた。古代・中世においては、小矢部川がしばしば氾濫をくり返し、通行が途絶することが多かったので、氾濫の恐れのない「山根道」が利用されたのである。治水工事の進んだ近世に入ってからは、平野地帯を通過する「水見往来」が作られたと考えられている。「水見往来」は漁業中心地の水見沿岸で漁獲した魚介類を、加賀藩主や家臣団の食膳に、一刻も早く運ぶための重要路線であり、江戸幕府の巡見上使が通過する「上使街道」でもあった。



第39図 調査対象地周辺の遺跡と街道

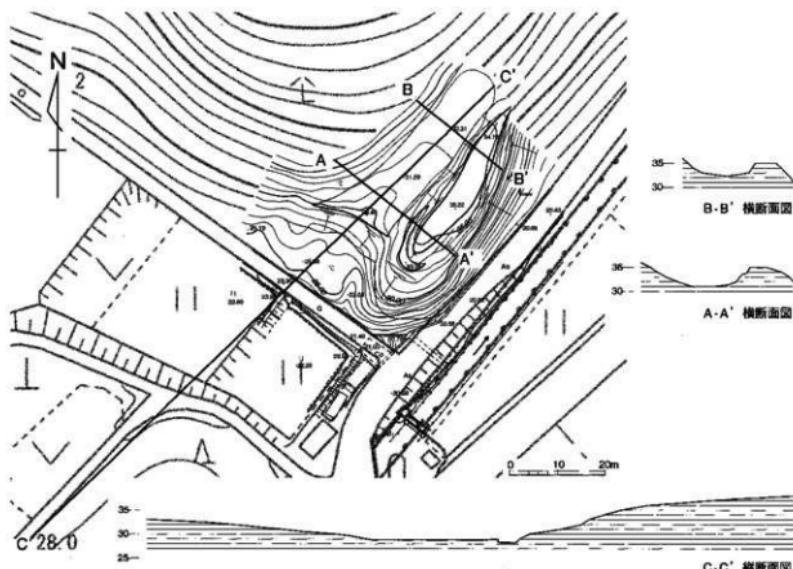
第4節 調査の方法と成果

第1項 調査の方法

調査については、まず現地踏査を行い、図面を作成する範囲を決めると共に、測量のポイントとなる部分を確認し、延長約50m、幅40mの範囲を測量することとした。その後、ラジコンヘリコプターによる空中写真測量を行い、1/500の精度で地形図素図を作成した。素図を基に現地確認し、修正するとともに現況測量図を完成させた。また、「併利伽羅峠の古道」などの先行例と比較することと、上五位神社から対象地にかけての道筋を把握するために、現況測量図と都市計画図を合成した図面から縦横断面図を作成し、古道と推定される部分について記録保存を行った。

第2項 調査の成果

測量の結果、A-A' 横断図では、南東（五位用水）側を高さ約3m開削するとともに、標高約35mのところで、幅約5mの平坦面を造成している。反対側は約1～2mを開削しているものと考えられ、道幅は約10mである。B-B' 横断図では、南東（五位用水）側を高さ約2m開削するとともに、標高35mのところで、幅約5mの平坦面を造成している。この平坦面は長さ約34m、幅約5mで広がっており、細長い形状をしている。道幅は約10mである。先ほどの平坦面よりやや南西側にも三日月のような形をした小平坦面が存在する。C-C' 縦断面では、現在の上五位神社の方向から上向田集落の方に向かう傾斜は、 5° ～ 15° を示している。道の痕跡については、今回測量した範囲よりも北東方向に広がることが現地踏査の結果から確認されている。調査範囲より北東方向に向かって進むと上向田集落の裏を通る形で道跡が確認できるが、道幅が測量範囲を超えると次第に狭くなる。道への入り口を広く造成し、その幅で道を造成するのではなく、最低限の人数が通れるように整備したものと想定される。



第40図 現況遺構地形図

第5節 総括

第1項 越中国の古代北陸道について

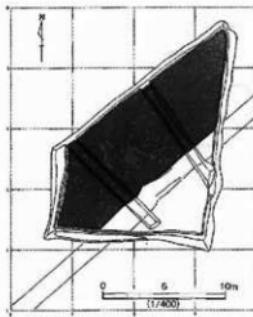
越中国は大宝2年(702)初めまでは、後の越後国に入る頸城・古志・三嶋・魚沼の4郡を管する上国で、その後いくたびの変遷を経て、ほぼ全城が現在の富山県になっている。「和名抄」国都部に「国府在射水郡」とある越中国府は、高岡市伏木の古国府・古府を遺跡地としてこれらの地に比定されるが、遺跡は明確ではない。「延喜式」主計寮上に見る京への行程は「上十七日、下九日。海路廿七日」である。また、「延喜式」兵部省「諸國駅伝馬」条によれば、越中には、坂本駅、川合(人)駅、日理駅、白城駅、磐瀬駅、布瀬駅、佐味駅が置かれていたとされる。駅馬は佐味駅のみ五疋で、他の駅は五疋、それから伝馬は各郡で五疋置くことが規定されていた。

富山県内の事例として挙げられる古代の道路については、幅1~2m、4mと6m前後の道路が検出されている。幅1~2mは集落内外を結ぶ道路と考えられ、4m以上は主要官道の性格をもつことが指摘されている。

古代北陸道の痕跡は、俱利伽羅岬辺の古道、桜町遺跡、麻生谷新生園遺跡、水橋荒町・辻ヶ堂遺跡で確認されている。俱利伽羅岬の古道は旧越中国と加賀国の境界に位置し、6~7mの幅員がある。小矢部市桜町遺跡では、側塗中心間で5.5~6mの幅の道路が確認されている。この成果は、空中写真の判読の成果とも合致する結果となっている。時期については、7世紀後半の整備の後、9世紀代に整備されたと指摘されている。高岡市麻生谷新生園遺跡では、奈良時代に幅6.5m以上の道路、平安時代前期は、幅4.5mの石敷き道路が確認された。隣接する高岡市麻生谷遺跡からは、「人長」墨書き土器が出土し、「延喜式」の「川人駅」との関連も指摘される。富山市水橋荒町・辻ヶ堂遺跡は、側塗中心間4.3mの道路が確認され、「水橋駅」に比定される。



第41図 道路構造図（小矢部市桜町遺跡）



第42図 道路構造図（高岡市麻生谷新生園遺跡）

第2項 古代北陸道の推定

俱利伽羅岬の古道の測量調査成果や平成5年度の桜町遺跡（産田地区）、平成9年度の麻生谷新生園（村田地区）の発掘調査に加え、今回の高岡市福岡町上向田地区での測量成果を含めることによって、加賀国から川入駅までのルートを推定してみたい。原図は、明治43年の陸地測量部が行った迅速図を用いた。主要な山や古墳群、空中写真から判読できる直線道路、発掘調査成果から推定を試みた。中世城館は、時代が下るものもあるが参考のために記載した。推定ルートは第43図のとおりである。まず、加賀国との境界である俱利伽羅岬を越えてから、尾根の北側中腹の古道は葵坂、巴塚付近で集束し、また分岐して平野部へ移行する。平野部へ移行した後は埴生八幡宮の方向へ行くルートと、蓮沼集落へ向かうルートが推定される。埴生八幡宮へ向かうルートは、そのまま山沿いを通り石動町を抜けていくが、蓮沼集落へ向かうルートでは、蓮沼集落から北側の直線道路を通り石動町へ向かう。石動町からは、城ヶ峰を基準に桜町遺跡（産田地区）の道路を通過し、上野方面へ進む。次に、二上山山頂を基準に北東へ進み、上野集落を通過したあとは、現在の上五位神社あたりから山腹へ入り調査対象地の古道跡を通過したものと考えられる。その後、西明寺、鳥倉、加茂、馬場、赤丸では、山沿いを通り、麻生谷新生園（村田地区）の道路を通過し、川入駅推定地へ辿りついたと考えられる。

凡例

— 推定古代北陸道

- (▲) 山頂
- (■) 河川
- (○) 神社
- (◎) 寺院

- (●) 古墳群・古墳
- (●) 古代の主要な遺跡
- (□) 城跡
- (□) 発掘調査による
古代北陸道確認地点

古墳群・古墳名

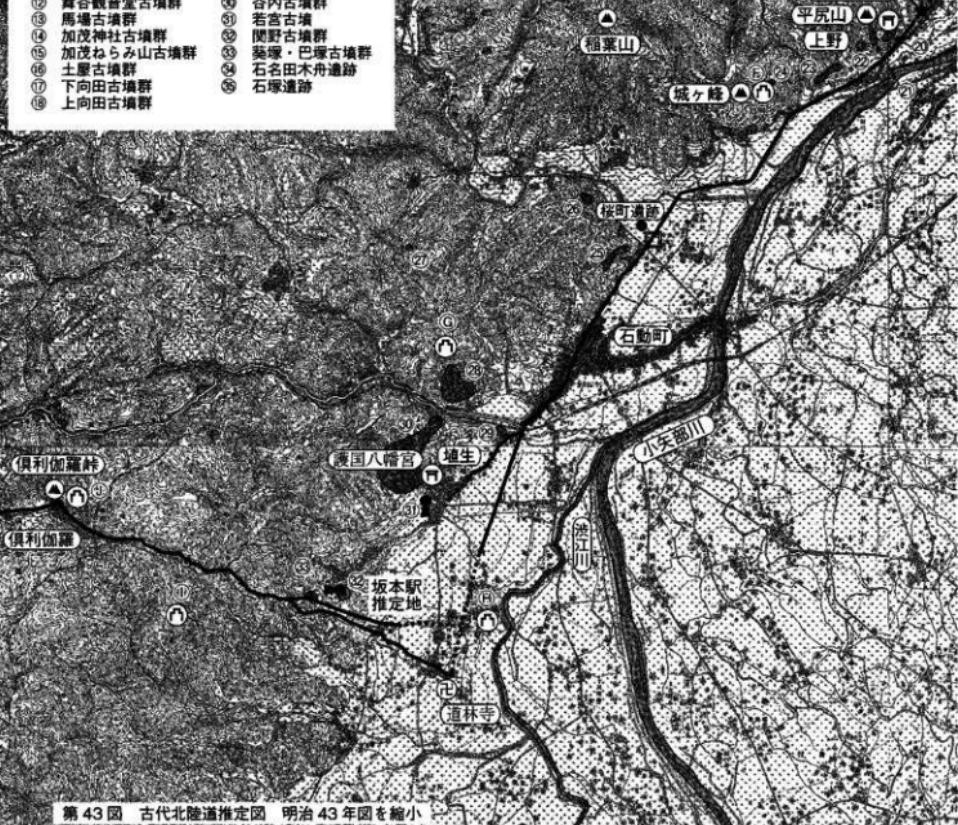
- | | |
|---|------------|
| ① | 柴野春日古墳群 |
| ② | 柴野割口I古墳群 |
| ③ | 柴野割口II古墳群 |
| ④ | 柴野割口III古墳群 |
| ⑤ | 柴野割口IV古墳群 |
| ⑥ | 麻生谷殿谷内古墳群 |
| ⑦ | 石堤柏堂古墳群 |
| ⑧ | 赤丸浅井神社古墳群 |
| ⑨ | 赤丸麻糸島古墳群 |
| ⑩ | 赤丸清水山古墳群 |
| ⑪ | 舞谷ノリコシ古墳群 |
| ⑫ | 舞谷觀音堂古墳群 |
| ⑬ | 馬場古墳群 |
| ⑭ | 加茂神社古墳群 |
| ⑮ | 加茂ねらみ山古墳群 |
| ⑯ | 土屋古墳群 |
| ⑰ | 下向田古墳群 |
| ⑲ | 上向田古墳群 |
| ⑲ | 西明寺北古墳群 |
| ⑳ | 上五位神社古墳群 |
| ㉑ | 平尻山古墳群 |
| ㉒ | 上野古墳群 |
| ㉓ | 上野西古墳群 |
| ㉔ | オオノントウ古墳 |
| ㉕ | 天狗山古墳群 |
| ㉖ | 桜町西古墳群 |
| ㉗ | 慶並古墳群 |
| ㉘ | 後谷古墳群 |
| ㉙ | 野端古墳群 |
| ㉚ | 谷内古墳群 |
| ㉛ | 若宮古墳 |
| ㉜ | 閑野古墳群 |
| ㉝ | 葵塚・巴塚古墳群 |
| ㉞ | 石名田木舟遺跡 |
| ㉞ | 石塚遺跡 |

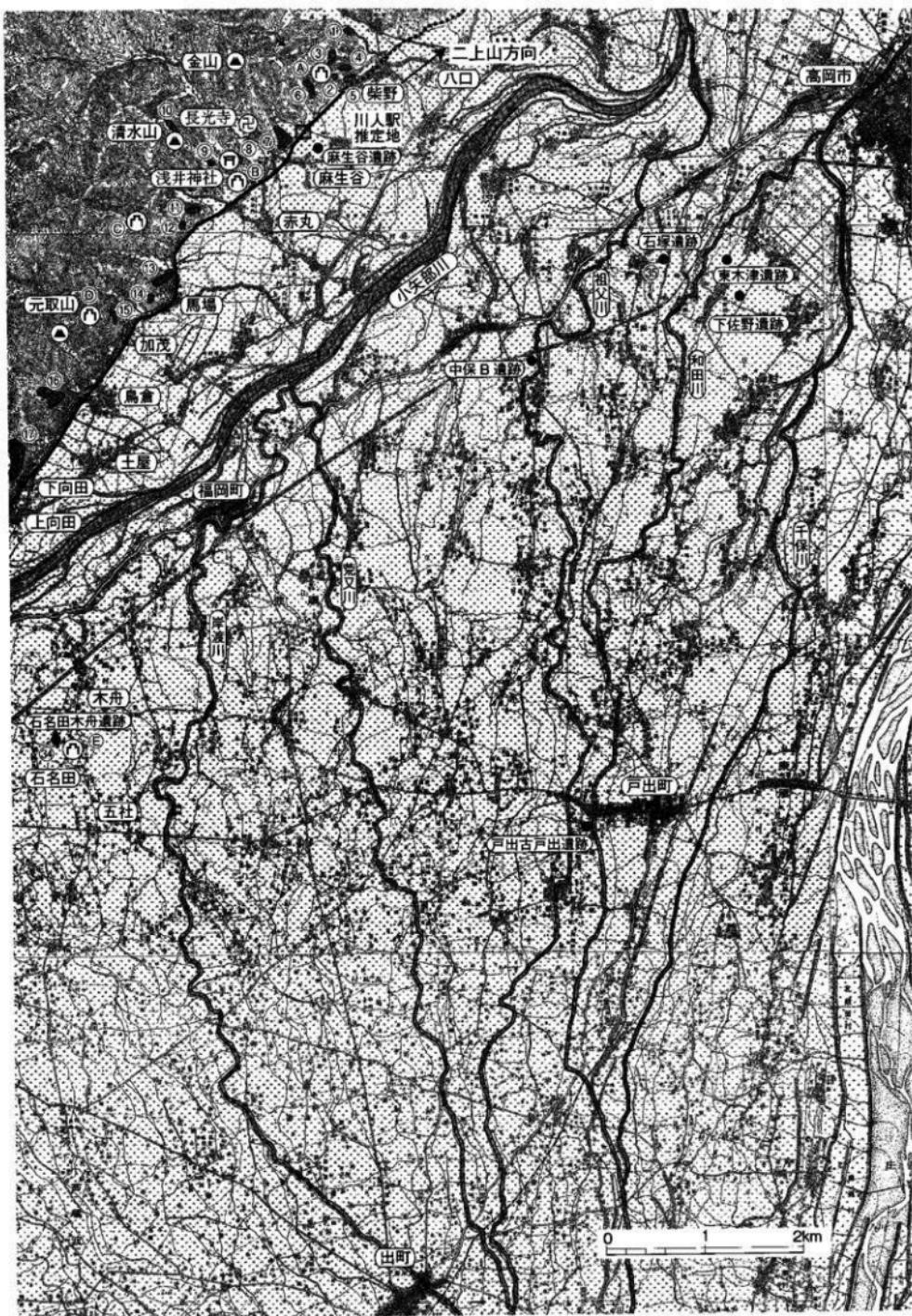
城跡名

- | | | | |
|-----|--------|-----|-------|
| (A) | 柴野城ヶ平城 | (F) | 田川城 |
| (B) | 浅井城 | (G) | 今石動城 |
| (C) | 赤丸城 | (H) | 蓮沼城 |
| (D) | 鶴城 | (I) | 源氏ヶ崎城 |
| (E) | 木舟城 | (J) | 俱利伽羅城 |

対象地

- 上五位神社
- 平尻山
- 上野





参考文献

- 木下 良 2006 「事典 日本古代の道と駅」 吉川弘文館
- 木下 良編 1996 「古代を考える 古代道路」 吉川弘文館
- 杉山 大晋 2014 「越中国府と地域交通—陸上・水運・海運交通の結節点—」
「こしのくに五市国府フォーラム」 小松市経済観光文化部文化創造課
- 富山県教育委員会 1992 「富山県歴史の道調査報告書—北陸街道—」
- 富山考古学会編 2000 「大境」 第20・21号
- 西井 審儀 1997 「俱利伽羅跡の古道」『古代交通研究』第7号 古代交通研究会
- 石川県小松市教育委員会 2003 「八日市地方遺跡I」
- 射水市教育委員会 2007 「高島A遺跡発掘調査報告」
- 小矢部市教育委員会 1994 「平成5年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報」
- 小矢部市教育委員会 2003 「桜町遺跡調査発掘調査報告書」
- 高岡市教育委員会 1991 「高岡市埋蔵文化財分布調査概報II」
- 高岡市教育委員会 1991 「越中国府関連遺跡調査概報V」
- 高岡市教育委員会 1992 「下佐野遺跡調査概報I」
- 高岡市教育委員会 1994 「越中国府関連遺跡調査概報VI」
- 高岡市教育委員会 1997 「麻生谷遺跡・麻生谷新生園遺跡調査報告」
- 高岡市教育委員会 2001 「石塚遺跡・東木津遺跡調査報告」
- 高岡市教育委員会 2002 「中保B遺跡調査報告」
- 高岡市教育委員会 2004 「山園町遺跡調査報告」
- 高岡市教育委員会 2005 「中曾根西遺跡調査報告」
- 高岡市教育委員会 2010 「中曾根西遺跡調査報告II」
- 高岡市教育委員会 2011 「下佐野遺跡調査報告II」
- 高岡市教育委員会 1992 「市内遺跡調査概報I」
- 高岡市教育委員会 1993 「市内遺跡調査概報II」
- 高岡市教育委員会 1997 「市内遺跡調査概報VI」
- 高岡市教育委員会 1998 「市内遺跡調査概報VII」
- 高岡市教育委員会 1998 「市内遺跡調査概報VIII」
- 高岡市教育委員会 1999 「市内遺跡調査概報IX」
- 高岡市教育委員会 2001 「市内遺跡調査概報X I」
- 高岡市教育委員会 2002 「市内遺跡調査概報X II」
- 高岡市教育委員会 2003 「市内遺跡調査概報X III」
- 高岡市教育委員会 2006 「市内遺跡調査概報X VI」
- 高岡市教育委員会 2007 「市内遺跡調査概報X VII」
- 高岡市教育委員会 2008 「市内遺跡調査概報X VIII」
- 高岡市教育委員会 2010 「市内遺跡調査概報X IX」
- 高岡市教育委員会 2011 「市内遺跡調査概報X X」
- 高岡市教育委員会 2013 「市内遺跡調査概報X X II」
- 高岡市教育委員会 2014 「市内遺跡調査概報X X III」
- 高岡市教育委員会 2015 「市内遺跡調査概報X C 4」
- 福岡町教育委員会 2002 「箕島地区に係る埋蔵文化財包蔵地試掘調査報告 HM-01 遺跡・箕島前川原遺跡・HM-04 遺跡・箕島遺跡」
- 福岡町教育委員会 2005 「富山県福岡町埋蔵文化財分布調査報告III」

写 真 図 版



1. 中曾根遺跡
土肥地区
第2トレンチ
全景（北）



2. 下佐野遺跡
上田産業地区
第1トレンチ
全景（南）



3. 中曾根西遺跡
角谷地区
第1トレンチ
全景（西）

図版〇一　遺構写真　中曾根西遺跡・井口本江遺跡・越中國府閔連遺跡



1. 中曾根西遺跡
能松地区
第1トレンチ
全景（東）



2. 井口本江遺跡
ア・ライズ2地区
第5トレンチ
全景（西）



3. 越中國府閔連遺跡
渋谷地区
第1トレンチ
全景（東）



1. 越中国府関連遺跡
マルワハウス地区
第1トレンチ
全景（北）



2. 越中国府関連遺跡
マルワハウス地区
第4トレンチ
全景（東）



3. 上黒田遺跡
今村地区
第1トレンチ
全景（北）



1. 瑞龍寺遺跡
諏訪地区
第1トレンチ
全景(西)



2. 瑞龍寺遺跡
荒木地区
全景(西)



3. 井口本江遺跡
広和地区
第2トレンチ
全景(西)



1. 越中国府関連遺跡
谷内地区
全景（西）



2. 出来田南遺跡
セブンイレブン
・ジャパン地区
第2トレンチ
全景（東）



3. 出来田南遺跡
セブンイレブン
・ジャパン地区
第3トレンチ
全景（東）

図版〇六 遺構写真 出来田南遺跡・井口本江遺跡



1. 出来田南遺跡
中野地区
第1トレンチ
全景（東）



2. 出来田南遺跡
竹澤地区
第1トレンチ
全景（北）



3. 井口本江遺跡
セブンイレブン
・ジャパン地区
第1トレンチ
全景（東）

図版〇七
遺構写真 中保A遺跡（竹下地区）



1. 第1トレンチ
全景（北）



2. 第1トレンチ
溝S D04（北）
弥生土器出土状況



3. 第2トレンチ
全景（北東）

図版〇八 遺構写真 中保A遺跡（竹下地区）



1. 第3トレンチ
全景（南）



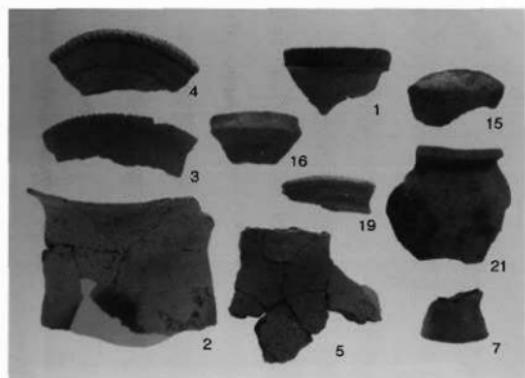
2. 第3トレンチ
SK15・SK16（北）
弥生土器出土状況



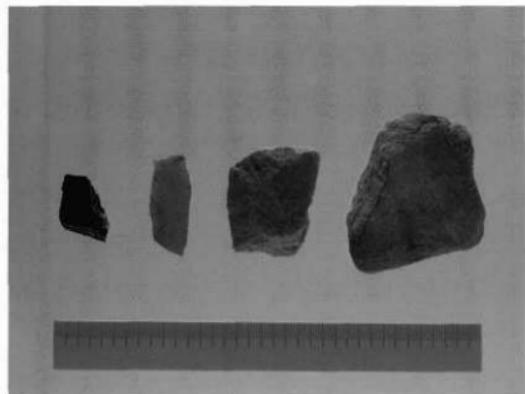
3. 第4トレンチ
全景（北東）



1. 出土弥生土器 1



2. 出土弥生土器 2



3. 出土石製品類
(玉作関連)



1. 井口本江遺跡
武内地区
第1トレンチ
全景（東）



2. 井口本江遺跡
武内地区
第2トレンチ
全景（東）



3. 赤祖父羽佐間遺跡
金山不動産地区
第1トレンチ
遺構掘削状況（南）

図版一
遺構写真
上北島遺跡・中曾根北遺跡・瑞穂町遺跡



1. 上北島遺跡
石黒地区
第2トレンチ
全景（東）



2. 中曾根北遺跡
竹口地区
第1トレンチ
全景（東）



3. 瑞穂町遺跡
ア・ライズ2地区
第1トレンチ
全景（南）

図版一二　遺構写真
瑞穂町遺跡・蓑島前川原遺跡・越中国府関連遺跡



1. 瑞穂町遺跡
ア・ライズ2地区
第2トレンチ
全景（北）



2. 蓑島前川原遺跡
林地区
第1トレンチ
全景（北）



3. 越中国府関連遺跡
中山地区
全景（西）



1. 越中国府関連遺跡
今井地区
第1トレンチ
土層断面（東）



2. 出来田南遺跡
トラストホーム地区
第1トレンチ
全景（北西）



3. 越中国府関連遺跡
ポケットパーク地区
第2トレンチ
全景（南東）

図版一四 遺構写真 下佐野遺跡・中保B遺跡・江尻C遺跡



1. 下佐野遺跡
米田地区
第1トレンチ
全景(西)



2. 中保B遺跡
中村地区
全景(西)



3. 江尻C遺跡
川島地区
第1トレンチ
土層断面(南)



1. 中保B遺跡
天野地区
第2トレンチ
全景（西）



2. 伊勢領遺跡
新川地区
全景（東）



3. 立野地頭田遺跡
キャピタル地区
第2トレンチ
全景（北）

図版一六 遺構写真 古定塚遺跡・蓮花寺遺跡・山岡町遺跡



1. 古定塚遺跡
村本地区
第3トレンチ
全景（北）



2. 蓮花寺遺跡
山村地区
第2トレンチ
全景（南）



3. 山岡町遺跡
折橋地区
第2トレンチ
全景（北）

報告書抄録

ふりがな	しないいせきちょうさがいほうにじゅうご							
書名	市内遺跡調査概報 25							
副書名	平成26年度 中保A遺跡の発掘調査報告他							
卷次								
シリーズ名	高岡市埋蔵文化財調査概報							
シリーズ番号	第76号							
編集機関	高岡市教育委員会							
発掘担当者	田上和彦 杉山大吾							
報告書編集者	田上和彦 杉山大吾 背頭明日香							
所在地	〒933-8601 富山県高岡市広小路7番50号 TEL 0766-20-1463							
発行年月日	西暦 2016年3月28日							
ふりがな 所収遺跡名	所在地 市町村	コード 遺跡番号	北緯 ° °'	東経 ° °'	調査期間	調査面積	調査原因	
中保A遺跡	富山県高岡市 中保	016202	202185	36° 43° 25°	136° 58° 10°	140917 140924	120.68m ²	駐車場建設
その他の遺跡 各調査区	富山県高岡市	016202				140424 150330		個人専用 住宅建設等
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
中保A遺跡	散布地	縄文後期	土坑43基 溝状道橋5条	弥生土器(中期~晚期: 古代須恵器(蓋) 近世越中瀬戸他)	弥生中期の集落 玉作り関係の石材 の出土			
		弥生						

高岡市埋蔵文化財調査概報第76号

市内遺跡調査概報 25

編集・発行 高岡市教育委員会

〒933-8601 富山県高岡市広小路7番50号
TEL 0766-20-1463

2016年3月28日

印刷所 小間印刷株式会社

〒933-0927 富山県高岡市利原町3
TEL 0766-21-0411

